

は し が き

全国の消防団員の皆様が、地域の安心・安全を守るため、日夜献身的なご尽力をされていることに対し、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

昨年臨時国会におきまして、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立しました。これは、消防団の重要性を明記し、消防団の装備の改善、団員の確保などについて施策の方向づけをするとともに、消防団が中核となり、住民の皆さんの総力を結集して地域の防災力を強化しようとするものであります。このような法律は、我が国の消防の歴史において初めてであり、これまでにない画期的な意味をもつものであります。

消防団員の減少傾向が続くなど厳しい状況にありますが、日本消防協会としても、消防団の活動環境の整備などに引き続き努力し、消防団を中心とする地域の総合防災力の一層強化を推進したいと思っております。

昨年は、消防団120年・自治体消防65周年記念大会を東京ドームで開催し、消防関係者が全国一致団結、これからのより一層強固な日本消防体制づくりに邁進するという決意を固めました。この大会を新たなスタート台にしなければならないと思っております。ご協力いただいた皆さんに深く感謝申し上げます。

東日本大震災では消防団の皆さんの活動が多くの人から高く評価され、地域の防災力の重要性が認識されました。また、首都直下型地震や三連動地震など大規模な地震発生切迫性が指摘される中、大型台風、竜巻や局地的な集中豪雨等による風水害も後を絶たず、いつでも、どこでも、何でも起こりうると考えて、これに対応する消防体制を築いていかなければなりません。

このテキストには、このように地域防災の要として期待されている消防団の活動の充実強化のため、参考になる全国各地の消防団の活動事例を掲載しました。それぞれの消防団が地域特性を活かした活動を充実させ、地域総合防災力の向上を進めるうえで、これが活用されれば幸いです。また、消防団がリーダー役を果たしながら、地域全体としての取り組みを進めることも必要であり、多くの消防団員の皆様はもとより、消防防災に関心のある幅広い皆様の一層のご活用を期待するものであります。

終わりに、本テキストの作成にあたり、貴重なご意見をいただきました消防庁国民保護・防災部防災課をはじめ、活動事例収集にご協力いただきました各都道府県消防協会、各消防団及び消防団事務担当者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成26年3月31日

財団法人 日本消防協会

平成 25 年度 新時代に対応した消防団運営 ～ 充実強化方策と消防団活動事例 ～

目 次

はしがき	1
目 次	2
全国大会等（日本消防協会等事業）	4

第 章【消防団の現状と充実強化方策】

消防団の現状	
1 消防団の活動状況	1 4
2 消防団の抱える課題	1 5
消防団の機能と役割	
1 多様な環境下にある消防団の機能と役割	1 7
2 「消防力の整備指針」における消防団の業務及び人員の総数	1 8
消防団の活性化対策	
1 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律	2 0
2 消防団組織・制度の多様化方策	2 0
3 消防団と事業所との連携体制の強化	2 1
4 消防団への参加促進・活性化対策	2 4

第 章【消防団活動事例】

消防団員確保対策	2 8
北海道 札幌市消防団	...ハリウッド映画とコラボレーションした入団促進ポスターの作成
愛知県 名古屋市消防団	...「SKE48」を名古屋市消防団のサポーターに任命
宮崎県 宮崎県庁	...宮崎県消防団広報紙「DAN!!」について
三重県 鈴鹿市消防団	...三本の矢 ～消防団のために～
三重県 伊賀市消防団	...消防団員の確保と組織改編に伴う女性消防団員の導入
三重県 四日市市消防団	...四日市市消防団「次世代育成」の取り組み
岐阜県 岐阜県庁	...ありがとね！消防団水防団応援事業所制度
宮城県 仙台市（青葉消防団・宮城野消防団・若林消防団・太白消防団・泉消防団・宮城消防団・秋保消防団）	...地域防災サポートチームを結成し消防団員確保対策を推進
兵庫県 洲本市消防団	...積極的な女性消防団員募集活動
福岡県 大牟田市消防団	...消防団の専門委員会を設置
福島県 本宮市消防団	...団員確保のための広報・PR活動
北海道 札幌市厚別消防団	...グループホームを消防団協力事業所に認定
滋賀県 野洲市消防団	...消防フェスタでの団員確保対策
埼玉県 和光市消防団	...外国籍消防団員の入団
神奈川県 横浜市西消防団	...入団促進活動による団員100%達成事例
訓練・災害対応	5 1
岐阜県 坂祝町消防団	...陸間水防訓練の実施について
茨城県 結城市消防団	...特別救助隊と連携した救助救出訓練の実施
神奈川県 藤沢市消防団	...実災害対応訓練を実施
茨城県 日立市消防団	...防火意識高揚を目指した連携訓練
埼玉県 三郷市消防団	...地域防災のリーダーとしての消防団活動
東京都 稲城市消防団	...稲城市消防団普通教育訓練
東京都 野方消防団	...首都直下地震を見据えたブラインド訓練
福岡県 筑後市消防団	...教養訓練と総合防災訓練の実施
福岡県 豊前市消防団	...豊前市主催の防災訓練を実施
兵庫県 三木市消防団	...市内9隊による合同山林火災訓練
埼玉県 志木市消防団	...出初式での連携訓練
兵庫県 尼崎市消防団	...「水防工法訓練」で技術向上
神奈川県 横浜市瀬谷消防団	...地域の消火能力の向上

東京都	臨港消防団	...救命ボート操船技術を有する団員による操船訓練	
防災教育			6 9
千葉県	浦安市消防団	...少年消防団を将来の地域防災の担い手へ	
岐阜県	下呂市消防団	...下呂市消防団「親子防災宿泊体験」を実施	
長野県	辰野町消防団	...防災体操「キッズファイアヒーロー」	
山口県	下関市消防団	...キッズ消防団体験	
大分県	臼杵市連合消防団 臼杵消防団・野津消防団	...臼杵市連合消防団の取組み	
大阪府	泉佐野市消防団	...消防団による小学校での避難訓練	
神奈川県	横浜市神奈川消防団	...中学生に対する「防災スクール」	
神奈川県	横浜市伊勢左木消防団	...応急手当の普及啓発活動	
機能別団員			8 1
大阪府	富田林市消防団	...大阪府下初の重機隊が発足	
東京都	練馬消防団	...練馬消防団救急救命部会	
岐阜県	多治見市消防団	...機能別消防団員（救命処置指導隊）	
群馬県	高崎市消防団	...高崎市消防団学生分団発足	
秋田県	大館市消防団	...大学生による機能別消防団員を発足	
女性消防団員の活動			8 7
大阪府	大阪狭山市消防団	...女性分団の発足	
長野県	諏訪地域6市町村各消防団	...女性団員が魅力発信！	
京都府	南丹市消防団	...女性のパワーで地域防災力の向上	
茨城県	桜川市消防団	...丁寧な接遇で様々な活動を展開	
茨城県	常総市消防団	...勉強会で女性団員の防災知識の向上	
群馬県	太田市消防団	...女性の能力を活かし地域に貢献	
広島県	府中市消防団	...女性消防団による防火・予防広報活動	
石川県	珠洲市消防団	...女性団員による手作りペープサートを使った防火指導	
石川県	小松市消防団	...魅力ある消防団へ	
長野県	南箕輪村消防団	...「女性消防団員も災害から地域を守るために。」	
富山県	朝日町消防団	...多岐にわたる女性消防団活動	
兵庫県	神戸市兵庫消防団	...女性消防団員の夢	
神奈川県	相模原市消防団	...相模原市女性消防団「あじさい隊」	
神奈川県	厚木市消防団	...女性消防団員基礎教育研修	
地域住民への広報・PR活動			1 0 4
大阪府	和泉市消防団	...消防団120年・自治体消防65周年記念式典を開催	
埼玉県	坂戸市消防団	...消防団の広報誌作成	
大阪府	門真市消防団	...地域の自主防災組織の中核的役割を担う消防団	
茨城県	守谷市消防団	...消防団による火災のないまちづくり	
高知県	黒潮町消防団	...消防団主催の「津波防災シンポジウム」を開催	
山形県	山形市消防団	...消防団フェア	
石川県	輪島市消防団	...地域に密着した消防団活動へ	
宮城県	宮城県消防協会	...宮城県消防協会広報課長に「みやぎ 消太」を任命	
千葉県	千葉市消防団	...市民の方々と共に	
福島県	須賀川市消防団	...東日本大震災を教訓に	
北海道	月形消防団	...月形町防災フェスタ	
神奈川県	厚木市消防団	...あつぎ市消防団ふれあい広場	
その他の事例			1 1 7

第 章【新時代に対応した消防団運営方策の普及に係る講座】

平成25年度実施状況（各講座詳細）	1 2 4
-------------------	-------

日本消防協会からのお知らせ

消防団活動事例ページのご案内	1 3 2
全国消防団PRページへの登録方法	1 3 3

全国大会等（日本消防協会等事業）

1 消防団120年・自治体消防65周年記念大会（平成25年11月25日 東京ドーム）



オープニングプログラム「木遣」と「纏」



第一部「記念式典」

第二部「消防実技」



放水演技



応急救護活動・救助演技



第三部「消防の士気高揚に向けて」



2 第19回全国女性消防団員活性化ぎふ大会（平成25年10月30日 岐阜県高山市）



大会風景



活動事例発表



火災予防啓発劇



清水ミチコ氏による記念講演



情報交流会

3 第21回全国女性消防操法大会（平成25年10月17日 神奈川県 横浜市消防訓練センター）



大会風景



アトラクション

4 女性消防団員リーダー会議（平成25年7月26日、27日 日本消防会館等）



東京消防庁第二方面救助機動部隊、海ほたる防災施設の視察

5 少年消防クラブ交流会（平成25年8月7日から9日 徳島県消防学校）



合同訓練



地元消防団との交流



郷土芸能体験

6 CTIF総会、青少年オリンピック（平成25年7月16日から21日 フランス、スイス）



7 第40回消防団幹部特別研修（平成26年1月14日から17日 日本消防会館）



8 第13回消防団幹部候補中央特別研修 男性の部（平成26年2月5日から7日 日本消防会館）

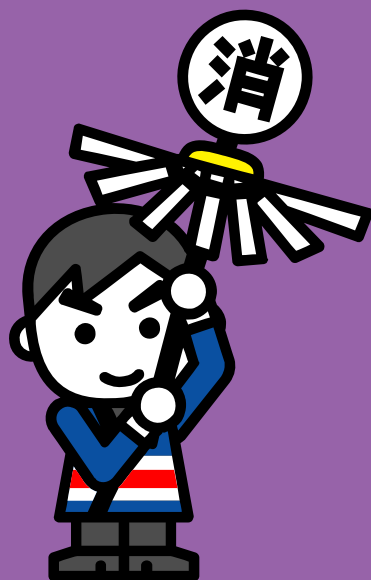


9 第13回消防団幹部候補中央特別研修 女性の部（平成26年2月12日から14日 日本消防会館）



第 章

消防団の現状と充実強化方策



消防団の現状

1 消防団の活動状況

消防団は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づき、住民有志により組織された市町村の消防機関である。平成25年4月1日現在、全国で2,224団(22,578分団)が設置されており、約87万人が消防団員として活躍している。

消防団員は、通常は各自の職業に従事しながら、いざ災害が発生した際には、いち早く現場に駆けつけ災害防御活動を行っており、一般住宅における消火活動はもちろんのこと、特に地震や風水害等の大規模災害時、林野火災時には、多数の消防団員が出勤し、被害の拡大防止に活躍している。

一方で、災害時以外の活動においても、個別訪問による防火指導や応急手当の普及指導、地域の行事の際の警戒等、地域に密着した活動を幅広く行っている。

また、近年増加傾向にある女性消防団員も、優しさやきめ細やかな配慮を生かし各地域において活躍している。

表 1
消防団の現況

区分	平成25年4月1日現在	平成24年4月1日現在
消防団数	2,224	2,234
分団数	22,578	22,753
非常勤消防団員数	868,872	874,193

2 消防団の抱える課題

近年の社会情勢の変化は、消防団の運営、活動等に様々な影響を及ぼしており、次のような問題点が指摘されている。

(1) 団員数の減少

消防団員数は、昭和 27 年当時 200 万人以上であったが、平成 2 年には、ついに 100 万人を割り込み、なお減少が続いている。しかし、消防団員総数が減少する中でも、女性消防団員数は年々増加している。

図 1 消防団員数及び対前年減少人数の推移



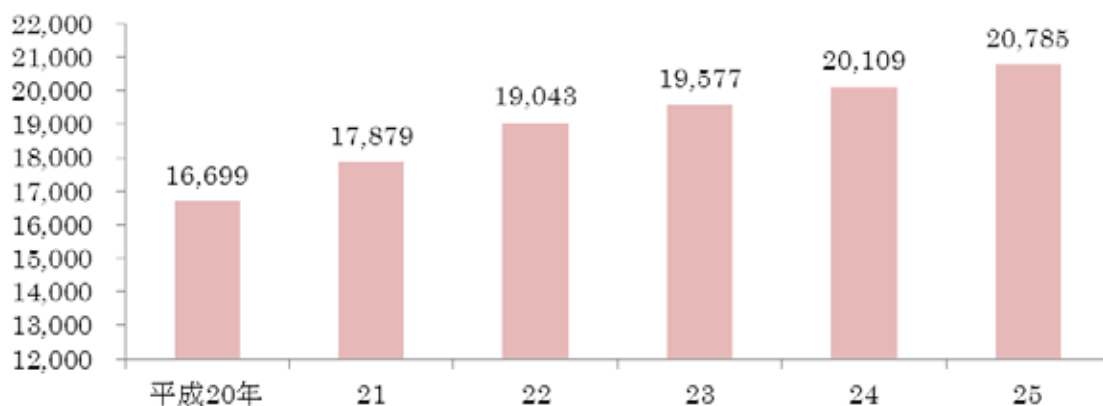
注) 1 「消防白書」により作成

注) 2 各年とも 4 月 1 日現在の数値

注) 3 東日本大震災の影響により平成 23 年の岩手県、宮城県及び福島県のデータについては、前年数値(平成 22 年 4 月 1 日現在)により集計している。

注) 4 東日本大震災の影響により、平成 24 年の宮城県牡鹿郡女川町の数値は、前々年数値(平成 22 年 4 月 1 日現在)により集計している。

図 2 女性消防団員数の推移



注) 1 「消防白書」により作成

注) 2 各年とも 4 月 1 日現在の数値

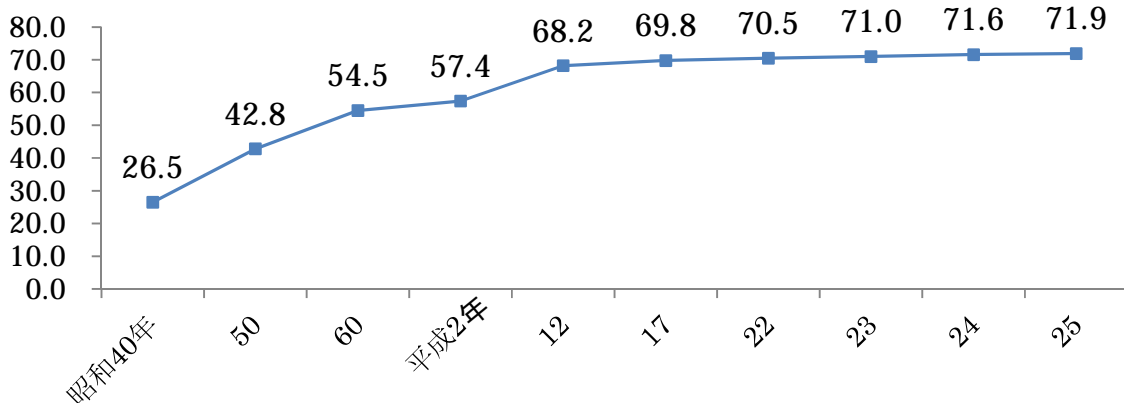
注) 3 東日本大震災の影響により平成 23 年の岩手県、宮城県及び福島県のデータについては、前年数値(平成 22 年 4 月 1 日現在)により集計している。

注) 4 東日本大震災の影響により、平成 24 年の宮城県牡鹿郡女川町の数値は、前々年数値(平成 22 年 4 月 1 日現在)により集計している。

(2) 被雇用者団員（サラリーマン団員）の増加

消防団員に占める被雇用者の割合は約7割までに高まっており、一般的な職住分離の傾向と相まって地域によって昼間における消防力の低下が懸念されている。

図3 被雇用者団員比率の推移（単位 %）



注) 1 「消防白書」により作成

注) 2 各年とも4月1日現在の数値

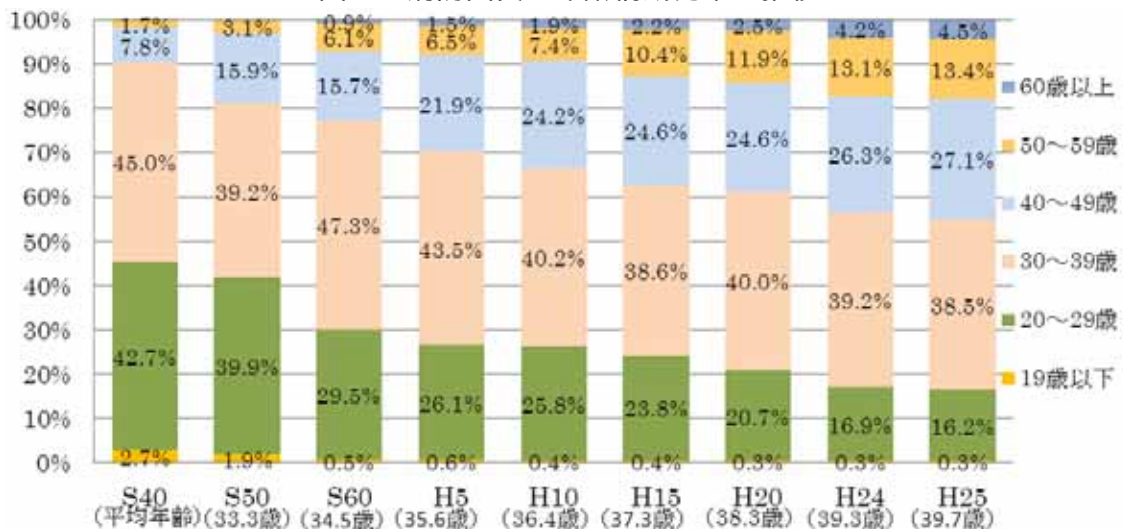
注) 3 東日本大震災の影響により平成23年の岩手県、宮城県及び福島県のデータについては、前年数値(平成22年4月1日現在)により集計している。

注) 4 東日本大震災の影響により、平成24年の宮城県牡鹿郡女川町の数値は、前々年数値(平成22年4月1日現在)により集計している。

(3) 団員の中・高齢層の増加

消防団員の年齢構成は、次図のとおりであるが、全体として団員数が年々減少している中で、40歳以上の消防団員の割合が増加し、また30歳未満の消防団員の割合が徐々に低下している。

図4 消防団員の年齢構成比率の推移



注) 1 「消防白書」により作成

注) 2 各年とも4月1日現在の数値

注) 3 東日本大震災の影響により平成23年の岩手県、宮城県及び福島県のデータについては、前年数値(平成22年4月1日現在)により集計している。

注) 4 東日本大震災の影響により、平成24年の宮城県牡鹿郡女川町の数値は、前々年数値(平成22年4月1日現在)により集計している。

注) 5 S40、S50は「60才以上」の統計が存在しない。また、S40は平均年齢の統計が存在しない。

消防団の機能と役割

1 多様な環境下にある消防団の機能と役割

消防団の活性化を図るための方策を検討するにあたって、まず、現在の多様な環境下におかれた消防団の状況を勘案し、その役割を明確化する必要がある、消防団機能の特性、他の消防機関との関係等から検討してみる。

(1) 消防団の機能と特性

まず、消防団の機能と特性としては次の6点に集約できる。

ア 普遍性

消防団員は、全国の至る所にあり、いかなる場所で災害が発生しても即座に対応することが可能である。

イ 地域密着性

消防団員は、その地域に居住又は勤務している人が団員となっているので、地域との繋がりが深く、各種事情について豊富な知識を有している。

ウ 即時対応力

消防団員は、定例的に教育訓練を受けており、消防に関する相当程度の知識及び技能を有している。

エ 多面性

消防団員は、単に消火作業を行うのみならず、火災予防の面でも住民指導、巡回広報等を実施している。また、風水害及び地震等、各種災害防御活動に当たっているほか、遭難者の捜索救助、各種警戒等の活動を行っている。

オ 要員動員力

全国で約87万人と消防職員の約6倍の人員を有し、特に大規模災害時及び林野火災時には、その動員力によって効果的な災害防御に当たることができる。

カ 広域運用性

消防団は、大規模災害時には相互応援協定等により、その管轄区域を越えて広範囲な活動を行うことができる。

(2) 他の消防組織との関係における消防団の役割

他の消防組織との関係における消防団の役割については、次の3点が挙げられる。

ア 常備消防機関との関係

常備消防の整備状況及び各地域の自然的条件、社会的条件により様々な役割分担が考えられる。常備消防の比重が高い地域では、通常の火災では常備消防が活動の中心となることから、消防団はその補完的役割を果たすこととなる。また、予防面については、各戸訪問時の一般家庭中心のきめ細やかな活躍が期待される。

イ 自主防災組織との関係

消防団は、平常時にあっては自主防災組織等に対して指導・育成を行う役割が期待され、また大規模災害時にあっては、消防団がリーダーシップをとって自主防災組織を始めとする地域の様々な組織やボランティアグループ等と共に統一のとれた災害防御活動を行う必要がある。

ウ 自衛消防組織との関係

事業所の自衛消防組織は、相当程度の施設・装備を有しているものもあるため、平素から消防団としても地域内の事業所等の自衛消防組織と密接な連携を図り教育訓練等の指導を行い、災害時には消防団主導の下、各組織を結集して防御活動に当たることが期待される。

このように、今日における消防団は、地域社会における消防防災の中核的存在として、従来からの任務である消火活動はもちろんのこと、防火指導を兼ねた独り暮らしの高齢者宅への戸別訪問、イベント等での警戒、応急手当の普及指導等、地域に密着した幅広い活動を行うことが期待されている。

また、多数の人員を必要とする大規模災害時においては、地域密着性、要員動員力及び即時対応力を発揮し、効果的な災害情報の収集伝達、避難誘導及び災害防御活動を行っていくことが期待される。

2 「消防力の整備指針」における消防団の業務及び人員の総数

消防団の行う業務については、各地における消防団が平常時に、きめ細やかな火災予防活動や応急手当の普及指導等の地域に密着した多様な活動を行っている実態や、さらに阪神・淡路大震災以降、再認識された消防団の持つ組織力を踏まえて、消防力の整備指針第38条に明記されており、業務の具体例は第1項に示すとおりである。

第 38 条 消防団は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 火災の鎮圧に関する業務
- (2) 火災の予防及び警戒に関する業務
- (3) 救助に関する業務
- (4) 地震・風水害等の災害の予防、警戒、防除等に関する業務
- (5) 武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する事
- (6) 地域住民等に対する協力、支援及び啓発に関する業務
- (7) 消防団の庶務の処理等の業務
- (8) 前各号に掲げるもののほか、地域の実情に応じて、特に必要とされる業務

また、消防団員の総数は、組織の見直しや市町村合併等に伴う条例定数の削減及び実員数の減少により全国的に減少し続けており、地域の消防力の低下が懸念される

ため、消防団員の総数の決定に当たって、地域の通常火災に対応するための団員数や、大規模災害時等における避難誘導及び消火活動等に必要とされる団員数を定めるとともに、離島、水害危険等の地域における諸事情等に応じ、必要とされる団員数を考慮している。

消防団の活性化対策

1 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」は、東日本大震災をはじめ、地震、局地的な豪雨等による災害が頻発し、住民の生命、身体及び財産の災害からの保護における地域防災力の重要性が増大している一方、少子高齢化の進展、被用者の増加、地方公共団体の区域を越えて通勤等を行う住民の増加等の社会経済情勢の変化により地域における防災活動の担い手を十分に確保することが困難となっていることに鑑み、消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図り、住民安全に資するために制定された。

この法律は、議員立法により第185回臨時国会に提出され、平成25年12月に成立したところである。

この法律においては、地域防災力の充実強化に関する計画の策定、全ての市町村に置かれるようになり、将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできない代替性のない存在である消防団の強化、国及び地方公共団体による消防団への加入の促進、公務員の兼業の特例、事業者・大学等の協力、消防団の処遇・装備・教育訓練の改善等の消防団の活動の充実強化、地域における防災体制の強化について規定されている。

今後、消防庁では、この法律に基づき、女性・大学生など幅広い層への加入促進に力を入れて取り組んでいくとともに、特に地方公務員の消防団への入団を働きかけていくこと、消防団員の安全確保のためのライフジャケット、安全靴やトランシーバー等の消防団の装備の充実を図ること、装備の充実を踏まえ、各都道府県、政令指定都市の消防学校における消防団の訓練教育の充実を図ること等を、消防団の拡充強化に向けて、より一層強力に推進していくこととしている。（平成25年版 消防白書から）

2 消防団組織・制度の多様化方策

昼夜を問わず、全ての災害、訓練に参加する消防団員（以下、「基本団員」という。）を基本とした現在の制度を維持したうえで、必要な団員の確保に苦慮している各市町村が実態に応じて選択できる制度として、各種の多様化方策を導入した。

その概要については次のとおりである。

(1) 機能別団員（特定の活動、役割のみに参加する団員）

ア 基本団員と同等の活動ができない人が、入団時に決めた特定の活動・役割及び大規模災害等に参加する制度である。

イ 消防職員・団員OB、被雇用者、女性等の有効な活用が可能である。

- (2) 機能別分団（特定の活動、役割を実施する分団）
 - ア 特定の役割・活動を実施する分団・部を設置し、所属団員は当該活動及び大規模災害対応等を実施する制度である。
 - イ 大規模災害対応、火災予防対応等を目的とした分団の設置や事業所単位での分団設置が可能である。
- (3) 休団制度
 - ア 団員が長期出張や育児等で長期間活動することができない場合、団員の身分を保持したまま一定期間の活動休止を消防団長が承認する制度である。
 - イ 休団中の大規模災害対応、休団期間の上限は各消防団で規定する。
 - ウ 休団中は報酬の不支給、退職報償金の在職年数不算入が可能。
- (4) 多彩な人材を採用・活用できる制度
 - ア 条例上の採用条件として性別・年齢・居住地等を制限している例があるので、条例の見直しにより幅広い層の住民が入団できる環境の整備が必要。
 - イ 年間通じての募集・採用の実施。

3 消防団と事業所との連携体制の強化

全消防団の約 7 割が被雇用者であることから、消防団活動への一層の理解と協力を得るために、被雇用者消防団員の活動環境の整備、事業所との新たな協力関係の構築、事業所における防災知識・技術に関するストックの活用、消防団活動への協力が社会責任及び社会貢献として捉えられる環境づくり等の各種方策を各都道府県及び市町村に示した。

概要は次のとおり。

- (1) 事業所における被雇用者消防団員の活動環境の整備
 - ～ 消防団活動に関する事前打ち合わせについて ～
 - 従業員である被雇用者団員においては、雇用事業所からの理解を得て、消防団活動が行える環境整備が必要である。そのため、消防団等から事業所にアプローチし、まずは、相互で話し合い協力していただくことが必要である。その上で、事業主と消防団で予め消防団活動について、必要な事項（例えば、勤務時間中における災害出動及び訓練等への配慮として、ボランティア休暇扱いにするなど）があれば、それを取り決める。そして、必要な場合は、覚書きの締結等により調整することにより、被雇用者消防団員の活動環境を整備する。
 - なお、既に消防団と事業所の協力体制が築かれている場合においては、その関係を継続的に維持・発展させていくように努める。
- (2) 事業所との新たな協力関係の構築
 - ～ 消防団と事業所との連携強化策について ～
 - 大規模災害発生時において、事業所が有する重機等の防災資機材の提供と併せ

て、資機材の操縦技術を有する従業員が機能別団員（機能別団員とは、17年度に新たに構築した制度であり、特定の災害・活動のみに参加する消防団員をいう。）となり、事業所が社会責任及び社会貢献の一つと捉え、地域防災活動に協力してもらえる関係を構築する。

(3) 事業所における防災知識・技術に関するストックの活用

～ 危機管理アドバイザー消防団員について ～

大規模、特殊災害については、消防職員や消防団員の知識・技術だけでは、迅速かつ的確な意思決定や災害応急対策の実施が難しくなっているのが現状である。そのため、事業所や大学機関等の専門機関の研修者、学識経験者等に機能別団員になってもらうことにより、防災対策に関する助言(アドバイス)等を専門家から受け、迅速かつ的確な意思決定や災害応急対策が実施できる関係を構築する。

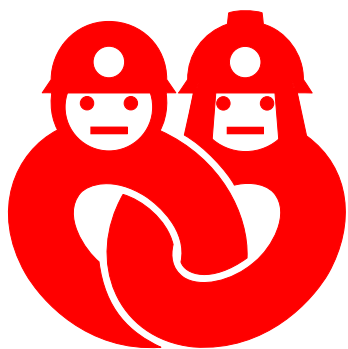
(4) 消防団活動への協力が社会責任及び社会貢献として捉えられる環境づくり

～ 消防団協力事業所について ～

事業所が消防団活動に協力することが「地域防災活動」につながり、社会責任及び社会貢献として認められ、なおかつ、事業所の信頼性の向上につながる環境を整備する。

そこで、平成18年度の「消防団協力事業所表示制度に関する検討会」において、制度の具体的な運用方法等を検討し、その結果を踏まえて、平成18年11月29日付け消防第427号により、各都道府県知事及び各指定都市市長あてに、『「消防団協力事業所表示制度」の実施について』を通知した。

「消防団協力事業所表示制度」表示マーク



表示マークのコンセプト

事業所の消防団への協力を消防団員と事業所の従業員をイメージした輪の連結で力強く表現し、また、ハート型は地域を思う心をあわせて表現しています。

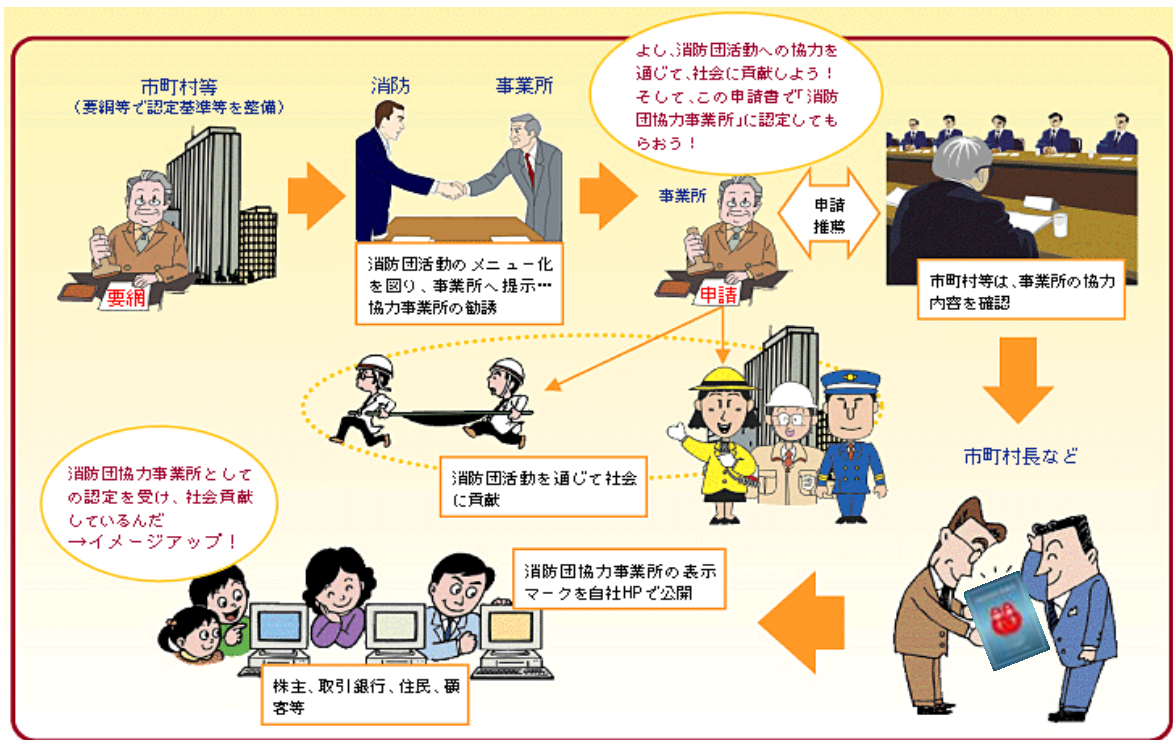


総務省消防庁が交付する表示証
(ゴールドプレート)



市町村等が交付する表示証
(シルバープレート)

消防団協力事業所表示制度イメージ図



運用開始

- (1) 総務省消防庁 平成19年1月1日から
- (2) 市町村等 市町村等が定める日から

4 消防団への参加促進・活性化対策

消防庁が実施している消防団への参加促進、活性化策については次のとおり。

消防団活動のPR

啓発ポスター・パンフレット・消防団PRビデオ(DVD)の作成・配布、PRパネル貸与、ホームページの運用、インターネットバナー広告、雑誌等を活用した広報、テレビ番組の放映



消防団員募集ポスター



消防団員募集リーフレット



消防団のホームページ

消防団活動表彰（消防庁長官表彰）の実施

- ア 地域に密着した模範となる活動を行っている消防団（13年度～）
- イ 団員である住民を雇用し、消防団活動を支援する事業所
- ウ 団員の確保について特に力を入れている消防団又は地方公共団体（16年度）
- エ 大規模災害時等において顕著な活動を行った消防団（特に功績のあった消防団について消防庁長官表彰、その他の消防団については消防庁長官褒状を授与。・・・16年度～）

模範となる活動事例を全国に紹介し、若手・中堅団員や女性団員の士気高揚を図るための「全国消防団員意見発表会」の実施（14年度～）

入団推奨に係る地方公共団体等への主な通知

- ア 市町村・都道府県職員（14年11月）
- イ 女性、農協職員（16年2月）
- ウ 日本郵政公社職員（16年3月）
- エ 大学生等（18年1月）
- オ 地方公務員、公立学校教職員（19年1月）

団員確保に係る地方公共団体への直接の働きかけ

市町村合併に伴う消防団の取扱いに関する地方公共団体への通知
地域の消防・防災力を向上させるため、団員数の確保と団員の士気を高揚できる処遇について、十分な検討・考慮等を行うこと。（15年10月）

消防団メールマガジンの発行（14年度～）

インターネットによる防災教育（e-カレッジ）の検討・実施（16年2月～）

消防団員確保アドバイザー派遣制度（平成19年3月～）

消防団確保に必要な知識や実績を有する消防職団員等を、消防団員確保アドバイザーとして地方公共団体等に派遣し、地域の実情にあった団員確保策について、きめ細かく具体的に助言や情報提供等を行うことで、消防団員を確保し、地域の安心・安全を推進することを目的としている。

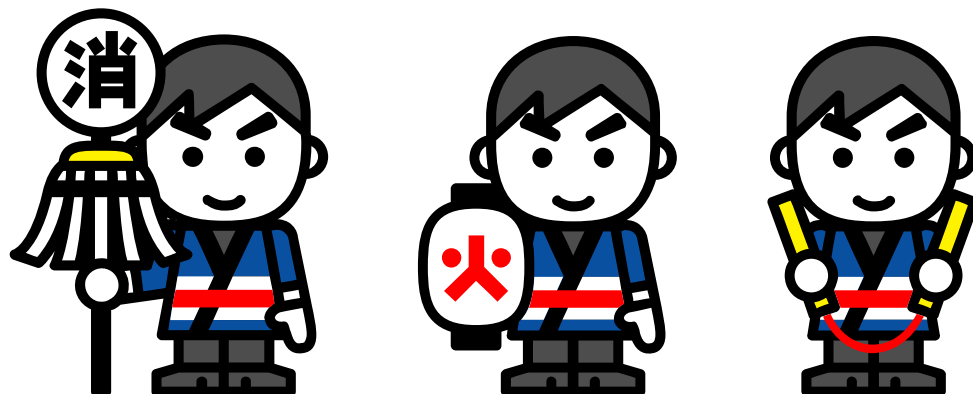
消防団員入団促進キャンペーン（平成18年1月～）

退団者が多くなる年度末の時期において、新たな消防団員を確保するために、1月から3月の期間を「消防団員入団促進キャンペーン」として位置づけ、各地でイベント等を開催し、一層の入団促進を図っている。

全国消防イメージキャラクター（平成20年1月～）

自治体消防60周年を記念して、全国消防イメージキャラクターを決定。

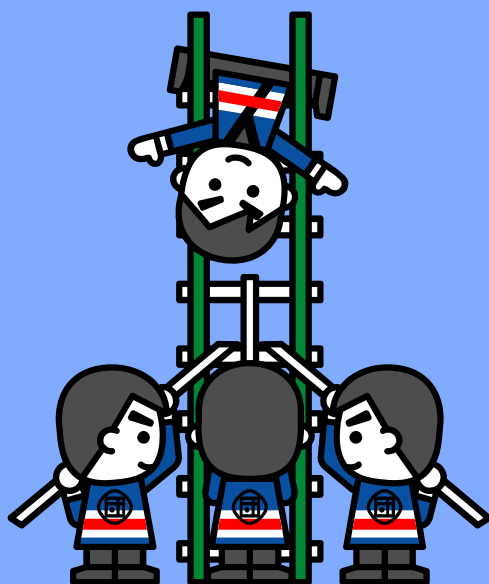
愛称は、1万件を超える応募の中から選ばれ、『消太』と名付けられた。



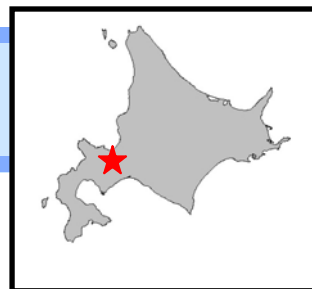
「消太」消防団バージョン（3月7日が誕生日）

第 章

消防団活動事例



ハリウッド映画とコラボレーションした 入団促進ポスターの作成



消 防 団 概 要

都道府県名 北海道
消防団名 札幌市消防団
実員数 1,943名〔うち女性団員391名〕
消防団事務局 札幌市消防局 総務部職員課厚生係
電話番号 011-215-2020
HPアドレス
<http://www.city.sapporo.jp/shobo/shokai/dan/dan.html>

活 動 内 容

1 活動内容

札幌市消防団は、団員の高齢化の傾向にあるという現状を受け、例年10月15日～12月13日〈60日間〉の期間を入団促進キャンペーンと位置づけて、若年層（35歳以下）入団促進及び地元企業との協力体制の推進を重点項目として実施しています。

札幌市消防局では、消防団と連携し、テレビやラジオ出演によるPR、新聞や広報誌への掲載などを積極的に行い、入団促進に努めております。

昨年度からは映画会社とタイアップし、入団促進ポスターを1,000部作製し、商業施設や公共施設、高校、大学に配布し若い世代を中心に広く市民に呼びかけております。

今年度は、ハリウッド映画「ウルヴァリン SAMURI」とコラボレーション。侍が困難に立ち向かう姿と消防団員が災害に立ち向かう姿を重ね合わせ「地域を守る侍求む。」と題してポスターを作製しました。

消防団員の確保対策は、最重要課題のひとつであり、今後もこのような効果的なPRを積極的に行い、消防団の充実強化に努めてまいります。



「SKE48」を名古屋市消防団のサポーターに任命



消防団概要

都道府県名 愛知県
消防団名 名古屋市消防団
実員数 6,094名〔うち女性団員355名〕
消防団事務局 名古屋市消防局 消防部消防課消防団係
電話番号 052-972-3561
HPアドレス <http://www.city.nagoya.jp/index.html>

1 活動内容

消防団員の入団促進のため、地元名古屋発のアイドルグループ「SKE48」を名古屋市の消防団サポーターに任命し、消防出初式への参加や消防団員募集ポスターへの協力等の活動により、若年層の消防団入団促進を図り、消防団員の確保及び地域防災の要である消防団組織の充実に寄与するもの。

実施した活動

- ・名古屋市消防団サポーター任命式
- ・名古屋市消防出初式でのメッセージ発信
- 実施予定の活動
- ・団員募集啓発ポスターの作成
- ・団員募集イベントへの参加



活動内容

宮崎県消防団広報紙「DAN!!」について



消防団概要

都道府県名 宮崎県
 実施機関 宮崎県庁
 実団員数 15,151名〔うち女性団員302名〕
 事務局 宮崎県総務部危機管理局 消防保安課消防担当
 電話番号 0985-26-7627

HPアドレス

<http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/somu/shobo/osirase/page00101.html>
 miyazaki ebooks サイト（広報誌映像サイト）
http://www.miyazaki-ebooks.jp/?page_id=2656

1 活動内容

作成趣旨

消防団は、火災発生時の消火活動をはじめ、災害発生時（風水害・地震・津波・噴火など）の避難誘導等への対応のほか、地域住民に対する防火知識の普及啓発など幅広い活動に従事しており、地域防災力の要として、重要な役割を果たしている。しかしながら、近年は、少子・高齢化、被雇用者の増加、生活スタイルの多様化等に伴い、全国的に消防団員の減少傾向が続いている。

このようなことから、新たに消防団に特化した広報紙及びDVDを作成・配付し、地域における消防団の現状や重要性、関連情報などを分かりやすく伝えることで、消防団活動に対する県民の理解促進とイメージアップを図り、消防団活動の活性化や消防団員の加入促進の一助とする。

発行時期

年2回（概ね9月、3月） 平成24～26年度事業

発行部数

- (1) 広報紙 3,000部
- (2) DVD 100枚 4分程度の動画を収録

「広報紙PDF」も収録し、各市町村で増刷を可能にする。

活動内容



活 動 内 容



D V D

特 記 事 項

2 特記事項

これまでに3回発刊した広報紙と4分程度の動画DVDについては、各自治体を經由し、各市町村等に配付するとともに、県HP、YouTube や県 twitter、Facebook を活用し広報に努めた結果、消防団活動に対する県民の理解促進、イメージアップ及び消防団活動の活性化に効果を上げている。

また、広報紙作成業者の開設している、宮崎県内の自治体広報紙、情報誌等を電子書籍として情報発信する独自のポータルサイト「miyazaki ebooks」を活用し、消防団広報紙掲載については、単に広報紙掲載だけではなく、DVD動画を閲覧できる特設サイトを設け、限られた印刷部数の中、電子媒体を通じた広報活動に大いに効果を発揮している。

三本の矢 ～ 消防団のために～



消防団概要

都道府県名 三重県
消防団名 鈴鹿市消防団
実員数 445名〔うち女性団員13名〕
消防団事務局 鈴鹿市中央消防署 消防団事務担当
電話番号 059-382-9133

1 鈴鹿市消防団の現状と今後の取り組みについて

鈴鹿市消防団の定員は455名と定められていますが、平成26年1月1日現在10名の欠員が生じており、大規模災害時、地域の防災リーダーとしての活躍が期待される消防団員の不足が懸念されます。

そこで、鈴鹿市では「三本の矢」を掲げ、地域の皆様から親しまれ、信頼される消防団を目指している取り組みを、市報、FMラジオ、地元ケーブルテレビを通じて広報しています。

消防団の課題と今後の取り組み

消防団の定員は、鈴鹿市消防団条例で455人と定められています。しかし、昨年12月1日現在の実員は445人で、10人の欠員が生じています。このことは、地域の防災力に影響が生じ、大きな課題となっています。

市内に住む18歳以上の方なら、年齢や性別を問わず、どなたでも入団できます。消防団員は、地域の皆さんで選出し、育てていただくことが大切ですので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

市では3つの柱を立て、消防団員の定員確保に努めます。

- 1 現場活動ができる女性消防団員の参画を積極的に促進します。
- 2 分団の定員を超える入団希望者や防災の専門知識を持つ方を本部付で入団できるような制度の改革を進めます。
- 3 消防団員のイメージを刷新し、親しみを持っていただくために、消防団員にスポットを当てたイベントを開催します。



消防操法大会で訓練の成果を競う消防団員

イベント案内 消防ひろば ―魅力発見!!Shou Bou Dan24―

とき 2月23日(日)10時～15時 ところ イオンモール鈴鹿 中央コート

内容 消防団に関するポスターなどのモデルとなるイメージ団員の投票、豪華商品が当たる防災物品抽選会など

ぜひお越しください

広報すずか（平成26年1月5日号 No.1403）

現場活動ができる女性消防団員の参画

現状の人形劇による火災予防啓発、応急手当の普及等、ソフト面の活動は継続しながら、現場活動ができる女性消防団員の参画を積極的に促進します。現在各地区の消防団員はすべて男性で構成されていますが、いわゆる「女子力」により各地区の活性化を促進し、男女問わず地域の防災リーダーとなる団員の確保に努めます。



Suzuka Voice M マガジン 12月号

条例、規則の改正により環境整備を図る

各地区の定員が満たされていると入団できない、また、防災に関し様々な知識を持っていても活かす場所がない、そういった声を反映し、定員が満たされていても団本部付けとして活動できるように、防災の専門知識等を持つ有識者の方も同じく団本部付け団員として活動できるように環境整備を図り、やる気のある方の期待に応え、専門知識の教養により消防団員としてのスキルアップを図ります。



Suzuka Voice M マガジン 12月号

消防団員にスポットを当てたイベントの開催

消防団員のイメージを刷新し、親しみを持っていただくためにイベントを開催します。広報活動のモデルとなるイメージ団員を市民の皆様にご投票により選出していただくほか防災物品の抽選会などを行います。

以上、消防団員が活動しやすい環境を整えると共に、団員のイメージアップにより親しみを深め、大規模災害時、地域のリーダーとして信頼されるよう市民の皆様にご広報しています。

活
動
内
容

消防団員の確保と組織改編に伴う 女性消防団員の導入



消防団概要

都道府県名 三重県
消防団名 伊賀市消防団
実員数 1,473名〔うち女性団員10名〕
消防団事務局 伊賀市消防本部 消防救急課
電話番号 0595-249115
HPアドレス <http://www.city.iga.lg.jp>

1 活動内容

近年、少子高齢化及び就業人口のサラリーマン比率の増加により、消防団員の確保が困難になることが懸念されることから、伊賀市消防団は、平成19年度に消防団適正化計画策定骨子及び消防団適正化委員会設置要綱を定め、5年計画で組織改編を行い平成25年4月1日から運用となりました。

改編点としまして、1団1本部6方面隊を1団1本部10分団とし、ポンプ車両は300戸に1台、500戸に2台、1000戸に3台を基本に配備、団員数を条例定数は変えずに、一部地域特性で増減はありますがポンプ車1台に団員10名を基本として配属しました。平成20年に機能別団員として導入しました支援団員数も、一定の基準を設けて配属することで地域防災力の強化を図っています。

また、組織改編と同時に女性部を設置し、防災啓発活動と応急手当の普及啓発活動ならびに消防団員募集PR活動の充実強化のため女性消防団員を導入しました。

活動内容



義援金募集活動

活 動 内 容



救命講習



団員募集活動



啓蒙活動



高齢者世帯防火診断

特 記 事 項

2 特記事項

消防団組織改編により分団規模が大きくなることで出動範囲が広がり、分団同士の応援出動を容易にし、機動性が高まりました。

また、支援団員数の見直しをしたことで、団員数が増加し団員の確保と地域防災力の強化が成され、支援団員に地域密着型の災害即戦力として市民から大きな期待が寄せられています。

女性部の設置について、現在、女性団員10名全員が応急手当普及員認定を取得し、自主防災組織や学校、企業等に昼夜問わず応急手当講習から上級救命講習まで各種講習へ普及員として参加しています。また、一人住まいの高齢者世帯の防火訪問や市の各イベントへも積極的に参加し、防災意識の高揚や消防団活動への理解、消防団員の入団確保に寄与することを目的に女性ならではの目線で地域に密着した幅広い消防団活動を行っています。

四日市市消防団「次世代育成」の取り組み



消防団概要

都道府県名 三重県
消防団名 四日市消防団
実員数 595名〔うち女性団員33名〕
消防団事務局 四日市市消防本部 消防救急課地域安全係
電話番号 059-356-2005
HPアドレス
http://www.city.yokkaichi.mie.jp/syoubou/ff_group/index.html

活動内容

1 活動内容

今年度、恒例の「四日市市消防団消防操法競技大会」が記念すべき第50回を迎えたこともあり、特別企画としてエキシビジョン操法大会を企画し、四日市大学、四日市看護医療大学の学生や四日市中央工業、四日市農芸高校の高校生などのチームが参画し、日頃、馴染みの無い消防団の活動に触れてもらい、若年層への啓発を行いました。また、同大会の開催にあたり、市民団体などに協力を依頼し、飲食イベントを併催し、四日市商業高校、四日市農芸高校などの高校生が参画し、地域活性化、地産地消などのテーマも絡め、消防団の大会への若者の集客に取り組みました。

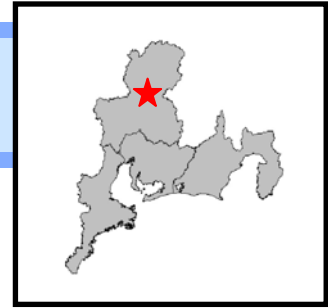
この取り組みとほぼ同時に、四日市大学の「地域防災」の講義に消防団として参画。事務局による消防団活動に関する講話に加え、地元分団が大学へ出向し、学生が消防団員と触れ合いながら放水など消防団活動を体験しました。

これらの取り組みにより、四日市大学生3名が地元分団に入団。若者の入団により分団も大いに活気付くこととなりました。

また、各分団においては、小学校の授業の一環で、消防団の詰所や車庫で消防団教室を行ったり、小学校に出向き、消防団の活動について分団長が講話を行うなどの活動を年間を通して行っています。分団によっては、「キッズ消防」と題して、小学校のクラブ活動で消防団活動を体験する取り組みも行われています。



ありがとね！消防団水防団応援事業所制度



消防団概要

都道府県名 岐阜県
実施機関 岐阜県庁
実員数 20,943名〔うち女性団員374名〕
消防団事務局 岐阜県消防課
電話番号 058-272-1122(直通)
HPアドレス c11193@pref.gifu.lg.jp

1 目的

岐阜県下の全消防団員、水防団員に対して、インセンティブ制度(「ありがとね！消防団水防団応援事業所制度」)を導入することで、団員のやりがいに繋げ、団員の確保に寄与することを目的としています。

県及び県消防協会、水防協会が事業主体となり「広域的」に事業実施することで、その効果を県下全域に広めます。

消防団水防団応援事業所へ登録した企業及び店舗が、消防団員、水防団員及びその家族へ割引等のサービスを実施。消防、水防団員をやることのメリットを出します。また、登録事業所には、店舗内に表示証を掲示してもらい、地域をあげて、消防団、水防団を応援しようという気運を高めます。

制度開始時期は平成26年度からを予定しています。

事業の活用を通して、消防団、水防団員の確保が図られることを期待しています。

活動内容

表示証



ステッカー
縦35mm×横50mm



地域防災サポートチームを結成し 消防団員確保対策を推進



消防団概要

都道府県名 宮城県
消防団名 仙台市（青葉消防団・宮城野消防団・若林消防団・太白消防団・
泉消防団・宮城消防団・秋保消防団）
実員数 2,166名〔うち女性団員109名〕
消防団事務局 仙台市消防局 総務部総務課消防団係
電話番号 022-234-1111
HPアドレス syo018010@city.sendai.jp

1 活動内容

全国的に消防団員を取り巻く環境は年々厳しいものとなっており、消防団員の減少は喫緊の課題となっている。当市においても消防団員の減少傾向や高齢化が課題となっているため、消防団員の確保対策の強化として下記の方策を実施した。

(1) 消防団活動広報及び消防団員入団促進キャンペーンの実施

多数の来場者が予想されるプロスポーツのイベント開催時に消防団の活動について広報し、広く市民に理解してもらう。

- ・プロ野球クライマックスシリーズファイナルステージ第1戦
東北楽天ゴールデンイーグルス対千葉ロッテマリーンズ
(クリネックススタジアム宮城)
- ・日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)
ベガルタ仙台対清水エスパルス(ユアテックスタジアム仙台)



クリネックススタジアム宮城



ユアテックスタジアム仙台

活動内容

活 動 内 容

(2) 大学との連携による地域防災サポートチームの結成

東北工業大学の野球部及びボランティア部を中心とした大学生や、教職員計 80 人が「地域防災サポートチーム」を結成し、消防団活動や地域の自主防災活動に協力することになった。また、チームから 4 名が消防団に入団した。

< 主な活動 >

- ・ 地域の消防団活動への協力
- ・ 自らの防災知識を醸成
- ・ 地域への防災知識の普及啓発
- ・ 大規模地震災害等発生時の自主防災組織活動の支援



結成式



研修

2 特記事項

仙台市で作成した募集チラシ



消防団員募集
あなたにできることたくさんあります!

あなたの力を貸してください
私たちは東北工業大学でたくさんの方から学び、これらは健康に親身に伝え、活かしていきたいと思っています。私たち消防団はこれらを具現化させたいため、地域に皆さんに発信し続けていこうと思っております。
消防団にはあなたの方がいます。あなたの力を貸してください

女性も活躍できる場所
東北工業大学の消防団員の方々が活動する姿を見て「わたしにも何かできることはないか。」そう思ったのが入団のきっかけでした。女性の方だけではなく、女性の方にも、自分たちの力を貸せる機会にするために、できることがあります。
是非、女性の皆さんも一緒に活躍してみませんか!!

伝統の継承者として
私は、平成13年に消防団に入団し、災害現場の活動や防火訓練など消防活動を行いながら、種子畑の継承者として活動しております。仙台市消防団子畑の事は、仙台七夕まつりなどのイベントに出場しており、番を守り、番の伝統を守る活動に誇りを持っています。
仙台消防の心業を後世に伝えていきたいと思っております!

消防団とは
消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づいた郷土愛ある消防組織です。火災はもとより、地震風水害等の大規模災害には、地域防衛性、突進能力、即応力を発揮して災害活動を展開し、地域の安全確保にしています。消防団員はそれぞれの職種で活躍している人たちが、地域で災害が発生すると、消防団員として災害活動にあたる仕組みになっています。
仙台市の消防団は7つの消防団、約2,000名の団員で組織され、女性団員も約110名が活動しており、地域における消防・防災の中核的存在として、大いに活躍しています。
災害現場には、消防団員がまず行動し、消防出動後、文化消防活動、文化消防大会、春・夏の火災予防運動、特別訓練などがあります。興味のある人は、消防団員募集に関心することです。

入団条件
次の全てにあてはまる方
① 仙台市に居住している
② 年齢18歳以上（男女問わず）
③ 心身ともに健康な方
※仙台市消防団員に就する条規第四條の欠格事項に該当する方を除く。

学生も、女性も、仕事をされている方も、入団できます!!

地域の消防団員又は最寄りの消防署へお問合せください。
問合せ先
・青葉消防署 ☎234-1121 ・宮城野消防署 ☎284-9211 ・若林消防署 ☎282-0119
・太白消防署 ☎244-1119 ・泉 消防 署 ☎373-0119 ・宮城消防署 ☎392-8119

特 記 事 項

積極的な女性消防団員募集活動



消防団概要

都道府県名 兵庫県
消防団名 洲本市消防団
実員数 927名〔うち女性団員0名〕
消防団事務局 洲本市総務部 消防防災課消防防災係
電話番号 0799-22-3321
HPアドレス
<http://www.city.sumoto.hyogo.jp/contents/20130228143018.html>

活動内容

1 活動内容

(1) 女性消防団員の募集について

従前より、団本部定例役員会で全国的にも年々増加しており火災予防や応急手当の普及啓発などで力を発揮している女性消防団員の任用に向けて、議論を重ねてきた経緯がありました。そのような中、平成8年度から女性消防団員を任用し、積極的に活動している芦屋市消防本部へ平成25年7月7日(日)に視察研修を行いました。同日、臨時の団本部役員会を開催し、平成25年度中に募集し、平成26年度から任用、団本部付けで配置することで事務処理等を進めていくことが決定しました。そのことを踏まえ、10月から募集を開始する運びとなり、募集方法としては、募集要項の配布、広報すもとへの掲載、地元ケーブルテレビでの放送(副団長が出演し募集の呼びかけ)、記者クラブへ情報を提供しました。

11月28日現在、4名の女性が応募(入団届提出済)され、平成26年度から女性消防団員として活動していただく予定です。

(2) 団員募集コーナーについて

本団については、年々団員数が減員しており、団員の確保が急務であります。新たな取組みとして、11月17日(日)に洲本市五色町都志地域で実施されました防災訓練において、「団員募集コーナー」を設置し、団員募集チラシや女性消防団員募集要項の配布、また、消防団のPRを行いました。

活 動 内 容

瀬本市女性消防団員募集要項



瀬本市消防団では、女性消防団員を募集します。消防活動に関心がある、また、地域貢献したい方の応募をお待ちしております。

- 応募資格（次の資格を全て満たす女性）
 - (1) 日本国籍を有する方
 - (2) 瀬本市内に居住、または、勤務する方
 - (3) 健康で年齢満 18 歳以上の方
 - (4) 運転免許証（普通車以上）を有する方
- 募集人員

概ね 20 名
- 募集期間

募集期間はありません。
- 主な活動内容
 - (1) 火災予防に関する啓発活動
 - (2) 各種消防出陣（出動式など）での遊覧補助
 - (3) 災害予防の普及啓発活動（災害予防普及員の資格取得等）
 - ※ 女性消防団員は、基本的に消火活動（火災出陣）は行いません。
- 待遇など
 - (1) 消防団員は、非常勤特別職の地方公務員です。
 - (2) 瀬本市消防団条例に基づき、年報酬、手当を支給します。
 - (3) 消防団活動に必要な装備を貸与します。
 - (4) 労務管理補償、退職給付金などの制度があります。
- 応募先・問い合わせ

既定の申込書を下記まで、郵送、又は、持参してください。申込受付後、後日、面接を行います。（面接の日時については、後日、本人に連絡します。）

〒656-8686 瀬本市本町三丁目4番 10号
 瀬本市消防団事務局（瀬本市役所 総務課消防防災課内）
 TEL:0799-22-3321（代） mail:shoubou@city.sumoto.hyogo.jp



防災訓練での団員募集コーナー

消防団員募集中

消防団は、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という郷土愛の精神に基づいた消防組織です。火災はもとより、地震や風水害等の災害発生時には、地域貢献性、即応対応力などを発揮して災害活動を展開し、地域の安全を確保しています。

平常時は、それぞれの職能に従事しながら「地域の皆さんが安心して暮らせる」ことを願い、火災予防の啓発活動や災害を想定した訓練の実施、また、各種行事での警備活動などを行っています。

今、消防団にあなたの力がが必要です！



◆入団申込み、問合せ先は
 瀬本市消防団事務局（瀬本市役所消防防災課内）
 〒656-8686 瀬本市本町三丁目4番 10号
☎0799-22-3321（内線 1312）
 mail:shoubou@city.sumoto.hyogo.jp

- ◆入団資格はア（次の要件を全て満たしている方）
 - (1) 日本国籍を有する方
 - (2) 瀬本市内に居住、又は、勤務している方
 - (3) 年齢満 18 歳以上の方
 - (4) 健康状態が、かつ、身体機能健全
- ◆募集期間は？

随時、募集しています。
- ◆主な活動内容は？
 - (1) 火災予防の啓発活動（年末防犯啓発など）
 - (2) 火災発生時における消火活動
 - (3) 風水害や地震等災害発生時における救出活動、避難誘導など
 - (4) 出陣式、消防団法大会など各種行事の開催
 - (5) 消防高まつり及び真田屋敷花火まつりの警備、警備
 - (6) 各種講習会、研修会への参加（普通救命講習会など）
 - (7) 消防車両や資機材などの点検
- ◆待遇は？
 - (1) 消防団員は、非常勤特別職の地方公務員です。
 - (2) 瀬本市消防団条例に基づき、年報酬、手当を支給します。
 - (3) 消防団活動に必要な装備を貸与します。
 - (4) 労務管理補償、退職給付金などの制度があります。
- ◆瀬本市消防団の現状は？
 - (1) 1団半数、14分団（内町、科町、物部、瀬、平草、加茂、大野、中川原、安平、納屋原、由良上、野瀬、船橋、石石、島崎、壁）が、市内に配置されています。
 - (2) 平成 25 年 10 月 1 日現在の総務課消防員数は、団長 1 人、副団長 9 人、分団長 22 人、副分団長 16 人、団員 48 人、副員 52 人、団員 302 人の計 327 人です。




特 記 事 項

2 特記事項

- (1) 今後、各種行事で「団員募集コーナー」を設置していく予定であります。
- (2) 女性消防団員については、概ね 20 名の任用を目標として、募集していく予定です。

消防団の専門委員会を設置



消防団概要

都道府県名 福岡県
消防団名 大牟田市消防団
実員数 644名〔うち女性団員21名〕
消防団事務局 大牟田市消防本部 総務課消防団係
電話番号 0944-53-3521
HPアドレス <http://www1.bbq.jp/ovfd/index.html/>

活動内容

1 活動内容

消防本部との連携強化及び消防団活動における自主的運営を図るため、消防団の組織内に「総務」、「予防」、「警防」の専門委員会を設置しました。

各委員会の委員長には副団長が就任し、21名の分団長もいずれかの委員会に所属しています。

それぞれの委員会の事務は、消防本部の各課の事務分掌と整合性を図り、委員会が何をすればよいのかを明確にしました。

各委員会には消防本部の各課長（総務課、予防課、警防課）及び課長補佐が顧問として出席し、様々な助言を行いながら運営しています。

専門委員会の設置により、各委員会が積極的に事業計画を定めて実行に移しています。

これまでの各委員会の実績は次のとおりです。

（1）総務委員会（毎月開催、これまで9回）

「大牟田市消防団活性化総合計画」を作成。団員加入促進の事業等も検討しました。

（2）予防委員会（毎月開催、これまで9回）

広報活動を主な事業とし、団員独自で第1号の広報誌「しょう太くんだより」を発行しました。また、HPの維持管理も行っています。今後は、春、秋の火災予防週間の事業計画等も検討していきます。

（3）警防委員会（毎月開催、これまで9回）

各種訓練の立案、運営や操法大会の運営、訓練計画の作成などを行いました。

消防団員募集!! 男女不問

「友達を誘ってみてね!」

消防団員募集のポスター

消防団のマーク

消防団の活動は、消防活動の中心であり、市民の安全と安心を守るために不可欠な役割を担っています。消防団員は、消防活動の最前線に立ち、火災の発生から消火活動、救助活動、防災活動まで幅広く活躍しています。消防団員は、消防活動の中心であり、市民の安全と安心を守るために不可欠な役割を担っています。消防団員は、消防活動の最前線に立ち、火災の発生から消火活動、救助活動、防災活動まで幅広く活躍しています。

消防出初式開催

消防出初式は、消防団員が一年間の活動に向けて意気込みを新たにする重要な行事です。消防団員は、消防活動の最前線に立ち、火災の発生から消火活動、救助活動、防災活動まで幅広く活躍しています。消防団員は、消防活動の中心であり、市民の安全と安心を守るために不可欠な役割を担っています。消防団員は、消防活動の最前線に立ち、火災の発生から消火活動、救助活動、防災活動まで幅広く活躍しています。

消防団の活動

消防団の活動は、消防活動の中心であり、市民の安全と安心を守るために不可欠な役割を担っています。消防団員は、消防活動の最前線に立ち、火災の発生から消火活動、救助活動、防災活動まで幅広く活躍しています。消防団員は、消防活動の中心であり、市民の安全と安心を守るために不可欠な役割を担っています。消防団員は、消防活動の最前線に立ち、火災の発生から消火活動、救助活動、防災活動まで幅広く活躍しています。

消防団員の確保

消防団員の確保は、消防活動の中心であり、市民の安全と安心を守るために不可欠な役割を担っています。消防団員は、消防活動の最前線に立ち、火災の発生から消火活動、救助活動、防災活動まで幅広く活躍しています。消防団員は、消防活動の中心であり、市民の安全と安心を守るために不可欠な役割を担っています。消防団員は、消防活動の最前線に立ち、火災の発生から消火活動、救助活動、防災活動まで幅広く活躍しています。



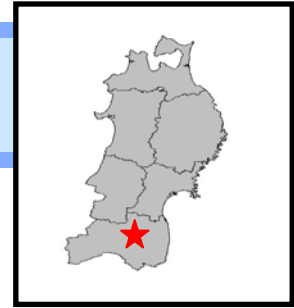
2 特記事項

具体的な成果物として、団員数の増加、ホームページの運営、広報誌の作成、活性化総合計画の策定、各種訓練計画の立案などがあげられます。これらの取組みにより、消防団幹部が自ら課題を考え、その解決に向けて、具体的に活動を始めました。

広報誌の作成や、様々なイベントでの団員加入促進の取組みなどによって団員数も近年増加傾向へ転じています。

今後も自主的に事業計画を作成するなど、さらなる自立的消防団運営に取り組んでまいります。

団員確保のための広報・PR活動



消防団概要

都道府県名 福島県
消防団名 本宮市消防団
実員数 538名〔うち女性団員0名〕
消防団事務局 本宮市役所 市民部防災対策課
電話番号 0243-33-1111
HPアドレス <http://www.city.motomiya.lg.jp/>

活動内容

1 活動内容

消防団員確保のためには、若い世代を中心に現在の消防団活動を知ってもらうことが大事であるため、行事やPR活動を展開しています。

PR活動としては、広報誌を利用した活動報告、県北地方振興局と連動したPR活動としてふくしまFMでの放送、ローカルラジオ局での放送などが挙げられます。

広報誌を利用した活動報告では、実施行事の概要とともに写真を掲載し、市民の方に消防団の活動内容がわかりやすい掲載をしています。

ふくしまFMでの放送は、本宮市消防団の歴史や現在の活動状況や消防団の裏話などを平成24年度に放送しました。

ローカルラジオ局での放送は、月1回番組「頑張る俺たち消防団」を放送しています。内容は、消防団活動の報告や防災に関する情報のお知らせ、団活動での失敗談や赤裸々トークなどです。

上記すべてにおいて、若い世代を中心に消防団活動を知ってもらい、団員確保及び消防団の活動しやすい環境を整えることを目的としています。



除染作業



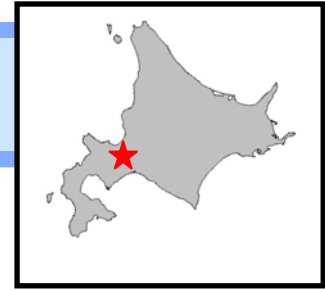
市内分列行

特記事項

2 特記事項

広報・PR活動においては、団員から「様々な方法で消防団活動をPRすることは、消防団活動に対する理解を広めるうえで有効であると思う」との意見がありました。

グループホームを消防団協力事業所に認定



消防団概要

都道府県名 北海道
消防団名 札幌市厚別消防団
実員数 113名〔うち女性団員28名〕
消防団事務局 札幌市厚別消防署 予防課庶務係
電話番号 011-892-2100

活動内容

1 活動内容

札幌市厚別消防団では、過去に札幌市北区で発生したグループホームでの火災事故を契機に、厚別区内にある各グループホームに対し、防火安全対策の向上を目的として運営会議への積極的参画や、避難訓練の指導を札幌市内でも先駆的に実施してきました。

この度、「認知症グループホームすずらん荘」では、介護士4名が新たに厚別消防団に入団しました。同じ職場の介護士が4名揃って入団するのは札幌市内では初めてのことで、消防団側も介護のプロである介護士と消防団活動の連携は、これからますます高齢化が進む社会の消防活動にも大きな可能性があるかと期待しています。

災害弱者に日々向き合い、少しでも地元の協力を得て地域と繋がりたいと模索しているグループホームと、災害に対応して、日頃から地域に密着した活動が得意な消防団がタッグを組むことになった次第です。

是非ともこの事例を他の都道府県（市町村）の消防団などに周知して、消防団の活性化に役立てていきたいと考えております。

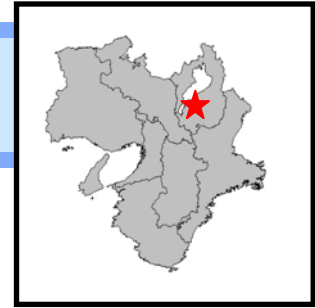


特記事項

2 特記事項

当該事案は、北海道消防新聞や雑誌・近代消防(11月号)へ掲載されております。

消防フェスタでの団員確保対策



消防団概要

都道府県名 滋賀県
消防団名 野洲市消防団
実員数 159名〔うち女性団員16名〕
消防団事務局 湖南広域消防局 東消防署庶務管理係
電話番号 077-587-1119

1 活動内容

野洲市消防団では、平成27年度には住宅開発により人口が急激に増加することから、新たに分団を新設する計画です。これに伴い、平成25年4月から消防団員による確保実行委員会を立ち上げ確保対策にあたっています。委員会では、まず現状把握と問題点について検討し、実行しています。その活動の一部をご紹介します。

まず、自治会で訓練指導を実施するときに消防団員を理解してもらうため、訓練終了後、消防団活動の紹介及び消防団員の募集に係る時間を設けてもらう事としました。

次に、10月に野洲市を管轄する湖南広域消防局東消防署で開催された市民とのふれあい消防フェスタに協賛し、消防団員によるうどんコーナーや消防団員のファッションショー、防火相談コーナー、消防団募集チラシの配布、ポンプ操法の披露、市民救急指導員による心肺蘇生法の体験を行う一方で、消防団員入団に関するアンケートコーナーを設けました。その中で今日までに新たに3名の入団者を確保することができました。

また、分団を新設する地域にある企業には消防団協力事業所として登録していただくことができました。その他、火災予防運動での街頭広報や消防出初式はもちろんのこと、成人式で消防団員募集活動を展開中です。

野洲市消防団は皆が仲良く、アットホームな消防団です。是非とも入団していただき、私たちと防火防災活動を行いましょう！

活動内容



市民救急指導員による
体験コーナー



消防団員募集パネル



消防団ファッション
ショー

外国籍消防団員の入団



消防団概要

都道府県名 埼玉県
消防団名 和光市消防団
実員数 124名〔うち女性団員6名〕
消防団事務局 和光市 危機管理室
電話番号 048-424-9097
HPアドレス <http://www.city.wako.lg.jp/>

1 活動内容

外国籍消防団員の入団

平成25年4月1日より、外国籍の市内在住者が入団している。消防団長及び朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部と協議を行った結果、本人からの入団希望を受けて、入団することになった。現在、消防団員の一人として、連合点検・出初め式・各分団整備・警戒・訓練などにも積極的に参加している。

防火・予防広報

秋季火災予防週間では、常備消防職員と女性消防団員で一人暮らしの高齢者の自宅を訪ね、設置が義務付けられている住宅用火災警報器の設置有無確認、普及啓発及び維持管理を行っている。春季火災予防週間では、市内で火災予防の街頭普及啓発を行なっている。

災害対応・訓練関係について

東日本大震災が発生し、多くの消防職団員が殉職したこともあり、災害対応能力向上のため、被災現場における消防署と消防団の有機的な連携について協議を行い、実践に即した合同訓練を実施している。この合同訓練では、関東南部を震源とする関東直下型地震を想定し、和光消防署・埼玉病院DMATとの連携した合同救助訓練を実施している。

活動内容



入団促進活動による 団員 100%達成事例



消防団概要

都道府県名 神奈川県
消防団名 横浜市西消防団
実員数 230名〔うち女性団員76名〕
消防団事務局 横浜市西消防署 庶務課
電話番号 045-313-0119

HPアドレス

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/shouboudan/05-03.html>

1 活動内容

入団募集のリーフレットによる効果

区内主要駅等、各種イベント会場、区内各企業等に配布する。



消防団ホームページによる効果

男性・女性団員が共同で訓練を実施している写真を掲載紹介する。

団員募集のぼり旗による効果

消防署や多くの来場者が見込まれるイベント等の場所に設置する。

(4) 消防団活動紹介パネル写真による効果

ベニア板に見開き状で写真を貼って、各イベント会場に展示した。



報道関係等による効果

各種新聞、テレビ報道、ラジオ放送、各種消防関係の月刊誌

活動内容

活 動 内 容



西消防団だよりの効果

西消防団広報委員会が作成した冊子を、町内会等の回覧板に掲載
消防署員による区内企業を対象とした募集広報活動の効果
訪問時には必ず事前に連絡し、入団了解するまで説明を行った。
女性消防団員による募集活動の効果
分団長自ら徒歩で募集活動を行い、多数の方が入団した。



消防団協力事業所対応効果

担当者が消防団訓練指導者と企業に出向き、訓練を実施



入団者一人ではなく友達を誘う効果

団地、マンション（8名）・企業（34名）・町内会（22名）
入団募集活動時（リーフレット配布）の場所・時間帯
区内主要駅頭広報では、会社員の帰宅時間にあわせ配布した。
小さな子供がいる団員は、消防団活動に参加できない
訓練等に子どもを連れてきてもらい、女性消防団員が育児を担当。

子供たちに親しまれること
 バルーンアート等を団員自ら作って、子供連れのお父さん、お母さんに対して入団募集を図る。

活
 動
 内
 容



区出初式での募集活動
 消防団活動写真パネルを掲載し、団員が説明をしながら紹介する。
 消防団員の一人ひとりの自立心
 消防団員がリーダーとして地域住民に訓練等の説明を行う。
 消防団員の活動隊について
 若い人は、団員の活動している雰囲気を目で確認し、形から入る。



訓練中の安全管理徹底
 肘・膝パット、保安帽にゴーグルとヘッドライトの適時装着。

特
 記
 事
 項

2 特記事項

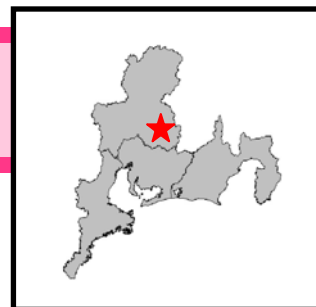
ここ数年の女性消防団員の活動については、男性団員が仕事等で不在時には、機関員として火災現場へ出動し、消火活動と避難誘導及び広報を行っている。

最近では、女性の活躍を見て、女子高校生及び女子大学生が入団し、行政、報道関係等で話題になった。

女性消防団員が増えて、男性消防団員の訓練出勤率が上がった。

現在、地域に貢献したいという入団待ちの方が30名以上待機している状況である。

陸閘水防訓練の実施について



消防団概要

都道府県名 岐阜県
消防団名 坂祝町消防団
実員数 100名〔うち女性団員0名〕
消防団事務局 坂祝町役場 総務課消防団担当
電話番号 0574-26-7111

活動内容

1 活動内容

毎年1回、水防法に基づく水防訓練を消防団、町、国土交通省、警察、町内建設防災協力会（*1）と連携して実施している。訓練内容については、地元河川の増水による災害防止として陸閘の操作、情報伝達及び交通規制、合わせて設備の点検、ゲート操作要領の確認を行うものである。

*1：町内建設防災協力会は、町内の建設等の企業が、有事の際に支援を目的に町と協定を結んでいる団体。



特記事項

2 特記事項

関係者等を通じ、水害だけでなく自然災害に対する危機意識の向上から防災に関する関心が高まっている。今後については、関係機関だけでなく地域住民も一体となり、町全体で防災対策を更に強化して実施するように考えている。

特別救助隊と連携した救助救出訓練の実施



消防団概要

都道府県名 茨城県
消防団名 結城市消防団
実員数 260名〔うち女性団員11名〕
消防団事務局 結城市役所 防災交通課
電話番号 0296-34-0411
HPアドレス <http://www.city.yuki.lg.jp/18/17697.html>

活動内容

1 活動内容

結城市消防団では、平成21年に総務省消防庁より救助資機材搭載車の貸与を受けて以来、結城市消防団本部に機動部隊を設け、消防団における救助技術の習得を図っております。その一環として、筑西広域消防本部結城消防署特別救助隊との連携を深めております。

具体的には、例年11月に実施している結城市総合防災訓練において、結城消防署特別救助隊と結城市消防団本部機動部隊が合同で救助救出訓練を実施しております。

また、結城消防署と結城市消防団の火災現場における連携は、水利支援・残火処理はもとより、大規模建物火災時の重機調達等、高度な連携体制を構築しております。



特記事項

2 特記事項

今年で第7回を数える結城市総合防災訓練は、大規模災害を想定した市民参加型の総合防災訓練であり、多数の関係機関等の協力を得て、1500名を超える参加者のもと、開催しております。自治会や園児を対象とした幅広い訓練を準備、進行するうえで、各分団に担当を割り振り、訓練棟の設置も団本部による手作りで行うなど、運営には消防団の力が不可欠となっております。また、毎年内容を見直す中で、前述の救助救出訓練は初回より全訓練の最後を飾っており、参加者全員が見守る中で、実際の災害現場を想定して実施する、非常に注目度の高い訓練のひとつとなっております。

実災害対応訓練を実施



消防団概要

都道府県名 神奈川県
消防団名 藤沢市消防団
実員数 500名〔うち女性団員0名〕
消防団事務局 藤沢市消防局 警防室警防課
電話番号 0466-50-3577
HPアドレス Keibou@city.fujisawa.kanagawa.jp

活動内容

1 活動内容

藤沢市消防団は、平成21年から木造やRC造の模擬家屋に現示板を設置し、出動から撤収までの一連の内容について、実災害を想定した訓練を警防課職員指導のもと実施しています。

これまでの消防団の訓練といえば、消防操法大会のホース一線延長操法が主体となっており、火災現場で有効にホースを延長できるホースカーの取扱いや緊急走行要領、水源準備などの実災害を想定した訓練を行っていなかったことから、消防団の消火活動レベルを向上させることを目的に年1～2回実施しています。

藤沢市においては、全消防団車両にホースカーを積載しており、取扱い訓練には特に力を入れています。毎回訓練内容を変更し、転線要領、障害物を想定した抱えホースでの延長要領、夜間での活動要領など様々な災害に対応できるよう訓練内容を工夫していき、今後も更なる飛躍を目指して継続していく訓練です。



特記事項

2 特記事項

開始当初は、とまどいもあり、車両から降りて立ちすくむことや、ついつい操法の動きになり、放水している脇で鳶口を構える団員もいました。様々な想定訓練を実施していく中で、質問も多くなり、少しずつですが、各団が自分たちのやるべきことを考えて行動するようになってきました。31個分団ある中で、レベルを均一にすることは難しいですが、今後も継続していきたいです。

防火意識高揚を目指した連携訓練



消防団概要

都道府県名 茨城県
消防団名 日立市消防団
実員数 392名〔うち女性団員0名〕
消防団事務局 日立市消防本部 消防係団担当
電話番号 029-24-0119

1 活動内容

(1) 林野火災消防演習

平成3年3月に発生した大規模林野火災を教訓に、市民の防火意識の高揚と消防署、消防団及び企業消防隊との連携強化を図ることを目的とした「日立市林野火災消防訓練」を毎年同時期に市内の山際団地周辺で実施している。



(2) 秋季点検

市長を点検者として消防団員の厳正な規律と旺盛な士気の向上並びに機械器具の点検整備の確立を期し、消防活動上の諸般の要求に適応することを目的とした秋季点検を、毎年10月第4日曜日に実施している。



活動内容

(3) 大規模災害における救出・救護・トリアージ訓練

日立市医師会と、災害拠点病院をはじめ、各医療機関の傷病者受け入れ体制の確認及び消防本部、関係機関との連携を訓練重点項目として実施している。

情報の伝達から各関係機関の参集、人命救助訓練・消火活動訓練、トリアージ訓練を実施し、災害対応能力の向上を図っている。

活
動
内
容



大規模災害における救出・救護・トリアージ訓練



訓練終了閉会式

特
記
事
項

2 特記事項

平成 3 年 3 月 7 日の林野火災、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災は、いまだに市民の記憶に残っているものです。火災・震災の教訓を忘れることなく、日立市民の多くが訓練に積極的に参加していただき、訓練回数を重ねるごとに、市民の士気が高くなりまた、各関係機関との連携の強化が図られている。

地域防災のリーダーとしての消防団活動



消防団概要

都道府県名 埼玉県
消防団名 三郷市消防団
実員数 333名〔うち女性団員13名〕
消防団事務局 三郷市消防本部 消防総務課消防団係
電話番号 048-952-1215
HPアドレス <http://www.city.misato.lg.jp/shobo/team/index.html>

1 活動内容

(1) 訓練目的

「自主防災訓練における消防団員指導者の育成」

東日本大震災が発生し、近年では首都圏直下型地震が懸念され、国民の防災意識が高まっています。三郷市においても自主防災会組織等が定期的に訓練を実施しており、その中で消防団が指導にあたる機会が増えてきました。消防団は地域の防災リーダーとして訓練を通じ地域住民との連携を深め、訓練の促進と訓練指導を行い、地域の防災力向上を目指しております。

三郷市消防団では、近年指導団員の退団や防災訓練の増加により指導団員が不足となり、指導団員の育成及び再教育をふまえ、消防団員自主防災訓練指導者養成講座を再開しました。

(2) 実施概要

各訓練の講義後、12班(1班4名)を編成し、ローテーションで実技指導を行い、全ての団員が指導者及び市民役を体験し、実践に沿って指導ポイントを団員同士でアドバイスしながら、実技指導にあたりました。

三角巾を使用した応急手当で、応急担架の作成・搬送要領の指導を各6班に分けて交互に実施しました。

活動内容



三角巾を使用した応急手当指導



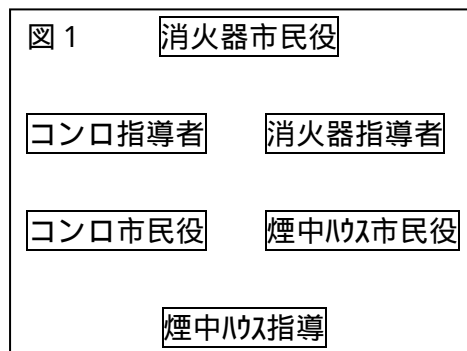
応急担架の作成・搬送要領指導

消火器取扱い、ガスコンロ出火時の消火方法、煙中ハウス取扱い指導要領

活
動
内
容



消火器取扱い指導



コンロ出火時の消火実技指導



煙体験ハウスを使用した指導

倒壊家屋・転倒家具からの救出救助要領

救出隊 応急救護隊 安全員とローテーションを組み実施。



救出隊はジャッキを使用し救出



応急救護隊は救護搬送

特
記
事
項

2 特記事項

参加団員から、「消防団員は、地域の防災リーダーとして指導できるように訓練を重ね、自主防災会等と連携を深め指導に取り組んでいきたい」、「危機意識を高め自己啓発し、多くの市民に伝えられるように活かしたい」などの多くの声が聞かれました。

今回の講座では、46名の指導団員を育成することができました。団員個々の知識・指導技術向上により、今後の自主防災会、町会等の防災訓練に地域の防災リーダーとして、三郷市全体の防災力の向上に期待しています。

稲城市消防団普通教育訓練



消防団概要

都道府県名 東京都
消防団名 稲城市消防団
実員数 189名〔うち女性団員2名〕
消防団事務局 稲城市消防本部 防災課消防団係
電話番号 042-377-7119

1 活動内容

稲城市消防団普通教育訓練

(1) 訓練目的

大規模災害発生時における救助対応力の向上を図る。

(2) 訓練内容

ア 車両救出訓練

車両に閉じ込められた要救助者を、エンジンカッター及び携帯用コンクリート破壊器具を活用した救出訓練倒壊建物からの救出要領

イ エンジンカッター及び携帯用コンクリート破壊器具を活用したコンクリート破壊訓練

活動内容



首都直下地震を見据えた ブラインド訓練



消防団概要

都道府県名 東京都
消防団名 野方消防団
実員数 191名〔うち女性団員19名〕
消防団事務局 東京消防庁野方消防署 警防課防災安全係
電話番号 03-3330-0119

活動内容

1 活動内容

野方消防団では、平成25年11月23日、首都直下地震を見据え、消防本部(東京消防庁)と連携し震災対応訓練を実施しました。今回は統制班(コントローラー)が作成した訓練シナリオを訓練実施者(プレイヤー)に公表せず、その場の状況に応じてプレイヤーに考え判断させることを主眼とし、より実践的な訓練形式としました。

訓練は震災の発生から開始され、消防団本部が野方消防署と連携して、無線による参集状況の把握、部隊編成・運用訓練等を行いました。出場命令を受けた全分団が、各想定災害現場まで実際に出場し、現地のコントローラーが示す災害像をイメージし、実際に水利部署から放水活動まで、実災害に沿った活動を行ったことが大きな特徴です。救助救急事象の想定でも、訓練用人形と障害物などを用い、より現実の災害に近い訓練を目指しました。



特記事項

2 特記事項

- (1) 消防団本部には、団長以下幹部が参集して部隊運用を中心に訓練を行いました。リアルな震災状況の把握と消防本部との連携訓練に成果が見られました。
- (2) 火災想定では、小回りの利く手引き式可搬ポンプ及び3台の可搬ポンプ積載車の機動力を活かし、消防隊が通行できない道路からの接近や水利への部署要領など、特性を活かした訓練を行うことができました。

教養訓練と総合防災訓練の実施



消防団概要

都道府県名 福岡県
消防団名 筑後市消防団
実員数 349名〔うち女性団員17名〕
消防団事務局 筑後市消防本部 総務課消防団係
電話番号 0942-52-2020
HPアドレス <http://www.city.chikugo.lg.jp>

活動内容

1 活動内容

(1) 筑後市消防団は、昨年7月の「九州北部豪雨」を教訓に、筑後市役所の防災担当職員及び消防本部警防課職員を講師として、全消防団員を対象に教養訓練を実施した。

梅雨の末期、台風シーズンを前に消防団の特性である地域密着性、要員動員力及び即時対応力が、防災や減災に繋がることを再度確認し、自らの地域は自らで守るという郷土愛護の精神や意識の高揚を図った。

(2) 毎年梅雨入り前に、筑後市総合防災訓練を実施している。この訓練では、市役所、医療関係機関、消防本部及び消防団が一体となって、倒壊家屋救助訓練、火災想定訓練、昨年の大規模災害での教訓を踏まえた水防訓練等を実施した。様々な災害に迅速かつ的確に対応し、さらに消防関係機関相互の連絡体制の強化並びに消防職・団員の技術の向上を図ることを目的に訓練を行った。

これらの活動を市の広報誌等に掲載し、市民の防災意識の高揚にも努めている。



特記事項

2 特記事項

平成25年6月2日筑後市総合防災訓練を実施。参加者167名。

平成25年7月7日全団員教養訓練を実施。参加者148名。

豊前市主催の防災訓練を実施



消防団概要

都道府県名 福岡県
消防団名 豊前市消防団
実員数 450名〔うち女性団員2名〕
消防団事務局 豊前市総務課 交通防災係
電話番号 0979-82-1111
HPアドレス <http://www.city.buzen.lg.jp/>

活動内容

1 活動内容

豊前市主催による総合防災訓練を平成25年9月7日実施し、地域住民750名が参加するなか、地震、津波、地震による土砂災害等を想定し、災害時での常備消防、消防団、行政、警察等の連携に加え、住民への避難誘導訓練を行った。

消防団は、災害対策本部の団長の指示のもとに各消防車両がエリア分けされた地域において住民避難指示の広報訓練や地区各所に設置された被害状況を示す看板の内容を対策本部へ報告する伝達訓練を行った。災害対策本部内では、無線を受けた団員が白地図上に被害箇所及び被害状況を記入し、本部役員へその説明を行い、災害時に重要な情報の把握と伝達を実践した。

消防団員においては、住民が避難所まで徒歩で避難を行うため、交差点各所に団員を配備し、交通誘導を行い住民の安全対策についても最善の注意を払った。今回の訓練では、地域の安全を担う消防団の活動等に対する住民の理解がより深まった。



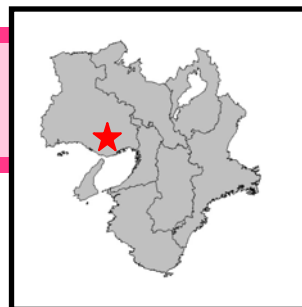
特記事項

2 特記事項

本市では、これまで各種の災害が比較的少なかったため住民及び団員の防災意識が低かったが、今回の訓練に参加したことにより、地域の現状、災害時の対応などについての自覚も高まり反響も大きかった。

また、消防団においても実践的訓練での役割等について再確認し、それらを今後の消防団活動に反映させる契機になった。

市内9隊による合同山林火災訓練



消防団概要

都道府県名 兵庫県
消防団名 三木市消防団
実員数 1,332名〔うち女性団員3名〕
消防団事務局 三木市消防本部 総務課企画係
電話番号 0794-89-0170
HPアドレス <http://www.city.miki.lg.jp>

活動内容

1 活動内容

三木市は、自然豊かな田園が広がり、市の面積約3割を、山林・原野が占め、ひとたび火災が発生すると広範囲に広がる可能性があります。また、水利事情が悪い地域もあり、消火活動が難航し甚大な被害となる恐れがあります。

常備消防力だけでは対応に限界があり、被害を最小限にとどめるには地域消防団の組織力が不可欠であります。

三木市消防団では、春の火災予防運動の一環として、水利からの距離1000m、高低差80mがある場所において山林火災が発生したという想定で、市内9隊の機動隊が合同で大規模な林野火災に対応するため、各機動隊間の連携強化と中継車両及びポンプの操作、トランシーバーによる情報伝達要領など、実戦的な訓練を実施しました。



特記事項

2 特記事項

この度の訓練は、林野火災を想定したものでしたが、長距離のホース延長は大震災時に市街地で予想される火災への対応としても有効なものです。

今後とも、高度な訓練を積み重ね、三木市の地域防災力の充実強化を図ってまいります。

出初式での連携訓練



消防団概要

都道府県名 埼玉県
消防団名 志木市消防団
実員数 94名〔うち女性団員7名〕
消防団事務局 志木市役所 生活安全課
電話番号 048-473-1111
HPアドレス <http://www.city.shiki.lg.jp/>

1 活動内容

志木市消防団では、消防出初式において、消防団、町内会自警消防隊、朝霞地区一部事務組合志木消防署と合同で訓練を行っています。

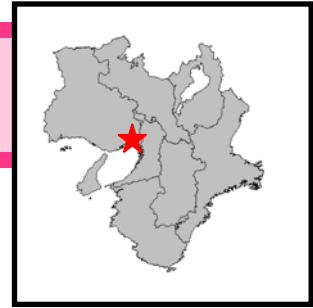
本年度は、埼玉県内を震源とした地震が発生したと想定し、火災現場での初期消火活動を自警消防隊が、倒壊した建物や瓦礫からの救出訓練、火災防御訓練を消防団と消防署により実施しました。

消防団体が三位一体となり、連携した訓練を実施することで、消防出初式を見に来られた市民の方に志木市の安心・安全を守る消防力を確認していただき、また、子ども達にも、消防団に興味を持っていただければと思います。

活動内容



「水防工法訓練」で技術向上



消防団概要

都道府県名 兵庫県
消防団名 尼崎市消防団
実員数 923名〔うち女性団員38名〕
消防団事務局 尼崎市消防局 企画管理課消防団担当
電話番号 06-6481-3962
HPアドレス <http://www.city.amagasaki.hyogo.jp>

1 活動内容

(1) 訓練概要

尼崎市では、尼崎市地域防災計画に基づき、地震・風水害等の災害に備え、地域の防災体制の確立を図るため、防災関係機関が参加して、尼崎市防災総合訓練を行っており、尼崎市消防団も防災関係機関と緊密な連携を図るために参加している。

尼崎市消防団は、水防工法訓練(三段積土のう工法)を競技方式で実施することにより、水防に対する責任の自覚、団員相互の結束力と技術の向上に努めており、災害時の活動が期待されている。

(2) 競技要領

市内6地区から消防団員各21名を選抜、6つの機動隊(126名)を編成し、機動隊ごとに割り当てられたエリア(9m×13m)内で、15分以内に土のう76俵を作成し、上流側から土のうを正確かつ迅速に積み上げ、三段積土のう工法(下段20俵・中段19俵・上段18俵・控19俵)を完成させる。

審査は、審査基準に沿って行われ、いかに速く正確に成形できるかだけでなく、作業の安全性、指揮、活動態度についても審査され、最も優秀な機動隊は尼崎市長から表彰される。

活動内容



団長へ各隊の集結報告

活
動

内
容



競技風景



市職員による審査



3段積土のう工法完成



島田団長と優勝した立花地区の皆さん

特
記
事
項

2 特記事項

この水防工法訓練の歴史は古く、尼崎市消防団の伝統行事のひとつであり、たくさんの防災関係者や市民の前で、競技することにより、尼崎市消防団のPRとなり、また駆けつけた消防団のOBの方の強い声援を受け、郷土を愛する消防団員の士気の高揚に繋がっている。

地域の消火能力の向上



消防団概要

都道府県名 神奈川県
消防団名 横浜市瀬谷消防団
実員数 282名〔うち女性団員46名〕
消防団事務局 横浜市消防局 瀬谷消防署庶務課消防団担当
電話番号 045-362-0119

HPアドレス

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/shouboudan/05-21.html>

1 活動内容

横浜市では、平成25年度の防災計画を修正する際に、想定地震を見直し被害想定を見直しました。その想定被害を軽減するための減災目標を設定し、目標達成のための対策として、『横浜市地震防災戦略』を策定しました。

地域の消火能力の向上

現有の公設消防だけでは、被害棟数を半減するのは困難であるため、地域住民等が初期消火を実施できるよう初期消火器具及び軽可搬式ポンプの設置や、初期消火訓練の実施、風呂水の貯め置きなどの意識啓発を行い、住民の初期消火能力の向上を図る。

このような趣旨のもと、横浜市瀬谷区内に設置されている145基の初期消火箱をさらに広く地域に浸透させるために、地域の防災リーダーである消防団員、特に平日の昼中にいる女性消防団員に初期消火箱の取扱いを操法形式で習熟してもらい、地域住民等に指導することを目標として訓練を実施しました。しかし消火栓が無ければ訓練が出来ないということで、水道局の協力のもと、移動可能な消火栓一式を改良し訓練を実施出来るようにしました。



活動内容

瀬谷消防団では、女性団員の活動と言えば救命講習や後方支援等、女性団員の頭の中には放水をするなんてことは、当然考えず、訓練当初は、放水することに抵抗があり、中には、「辞めます」まで言った方もいました。しかし、訓練を2回3回と重ねていくうちに、消防団の血が騒ぎ出し、自分たちで考え、工夫していくようになりました。

今年度は、女性消防団員訓練の初年度で任務分担も実施団員も固定で訓練しましたが、今後毎年度の開催を予定し、全ての女性団員が実施し指導出来るようにしていきます。

また、現在、初期消火箱は固定式中身のホース等は、50mm、65mmであります。今後、女性やお年寄り等が取扱い易く実施できるよう、また、地震防災戦略とリンクした整備計画を策定し、街の防災組織等に対する初期消火箱の設置普及、取扱い指導を消防署、消防団が協力し実施してまいります。

訓練発表会の模様



救命ボート操船技術を有する 団員による操船訓練



消防団概要

都道府県名 東京都
消防団名 臨港消防団
実員数 88名〔うち女性団員15名〕
消防団事務局 東京消防庁 臨港消防署警防課防災安全係
電話番号 03-3534-0119
(内線320)
HPアドレス www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-rinkou

活動内容

1 活動内容

東京の地形として南部海岸部では比較的水深が浅く、台風接近時には潮位が異常に高くなる高潮の影響を受けやすい。また近年頻発している「ゲリラ豪雨」は予測困難な局地的な集中豪雨なうえ短時間で河川の水位を急激に変化させる。このため100以上の河川を有する東京では思わぬ被害を発生させる可能性が少なくない。

上記のことを考慮すると、地域住民自らが水害に対応する自助活動の一種として、救命ボートを活用した救助活動を行うことは有事の際大いに地域防災力を向上させることができるため、定期的に救命ボート操船訓練を実施している。



特記事項

2 特記事項

定期的に訓練することで団員の迅速な救命ボート組み立てや確実な操船技術の向上に効果があった。また、指揮要領や団員の連携等の活動における基礎能力の向上に効果があった。

少年消防団を将来の地域防災の担い手へ



消防団概要

都道府県名 千葉県
消防団名 浦安市消防団
実員数 149名〔うち女性団員20名〕
消防団事務局 浦安市消防本部 総務課
電話番号 047-304-0142
HPアドレス <http://city.urayasu.chiba.jp/>

1 活動内容

少年少女が防火防災に関する知識及び技術を学び、規律ある団体生活を通して、将来の地域防災の担い手として明るく元気に成長することを目的として、浦安市少年消防団を平成24年4月1日に発足しました。訓練の指導は消防団が担当しています。発足時は小学5年生45名で活動していましたが、平成25年4月1日に第2期生が入団し1期生2期生併せて80名の少年消防団員が誕生しました。平成25年7月21日(日)には、救命学習を実施し、児童と保護者が自宅においても救命について学び普及することを目的に、ミニアン(CPR・AED学習キット)を全少年消防団員に配布しました。

活動内容



入団式



浦安市消防出初式

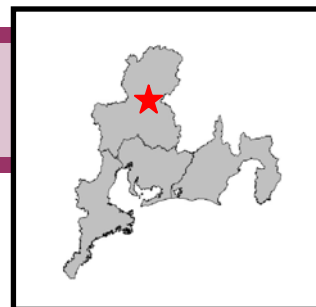


救命学習



防災訓練で帰宅困難者として海上自衛隊船に乗船

下呂市消防団「親子防災宿泊体験」を実施



消防団概要

都道府県名 岐阜県
消防団名 下呂市消防団
実員数 1,247名〔うち女性団員18名〕
消防団事務局 下呂市消防本部 消防総務課消防団係
電話番号 0576-25-5119
HPアドレス
<http://www.city.gero.lg.jp/?CFID=89549&CFTOKEN=64879975>

活動内容

1 活動内容

下呂市消防団では、下呂市内（旧5町村）の小学校高学年を対象に「親子防災宿泊体験」を今年度から計画しました。

この事業を計画した経緯については、下呂市の中心部を南東方向に延びる「阿寺断層帯」の中でも、北部の萩原断層は今後30年の間に地震が発生する可能性は6%～11%（マグニチュード6・9程度）と予測され、国内でも確率の高い活断層帯といわれています。

そこで児童在校時に大地震が発生した場合に、児童が学校に宿泊することを前提とし避難所生活での対応力を育て、親子で「自らの身は自ら守る」をテーマに、多くの方に参加していただけるよう夏休み（週末）に5つの代表小学校による体験を行いました。

下呂市消防団の団員指導の下、女性防火クラブ・小学校教師・PTA関係・自治会等も参加してくださいました。

プログラムは消防団員が考え、昼には初期消火体験、応急手当体験、夕方には女性防火クラブの方たちの協力で、「空き缶コンロ炊飯体験」を実施、夕食後には体育館に段ボールを使って仮住居を作成し、夜には親子で防災に関する勉強会、児童には、LEDランタンをプレゼントし暗い夜の体育館で灯りの大切さを実感してもらうなど、盛り沢山の内容となりました。また岐阜県消防協会からの補助金を利用し、各学校が避難所になった際に使用できるよう、「防災アルミシート」を備蓄していただくようにしました。

この取り組みの結果、参加者はこの地域で起こり得る災害を認識し、「自らの身は自ら守る」防災意識を高めることができたと言われ、児童たちにはこの経験を活かし将来、地元の防災リーダー「消防団員」になってくれることを期待しています。

活
動
内
容



消火器の放水体験



段ボールを使った仮住居



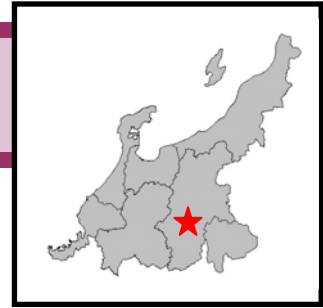
空缶コンロ炊飯体験

特
記
事
項

2 特記事項

消防団からは、子供たちが段ボールを利用してプライベートエリアを本当に楽しそうに作成している姿が印象的で、近頃は防災について色々なことをしてもあまり手ごたえが感じられない中、子供のうちから命の大切さや、防災についての教育が、大災害から命を守る近道だと実感したといわれていました。来年度もこの企画は、今年度実施した学校以外を選択して実施する予定です。

防災体操「キッズファイアヒーロー」



消防団概要

都道府県名 長野県
消防団名 辰野町消防団
実員数 496名〔うち女性団員16名〕
消防団事務局 伊那消防組合消防本部 辰野消防署
電話番号 0266-41-0119
HPアドレス <http://www.town.tatsuno.nagano.jp/baren/>

1 活動内容

辰野町消防団では、子どもたちに楽しみながら防災の事を身につけてもらおうと考えて、防災体操「キッズファイアヒーロー」を完成させ、普及活動をおこなっています。

作詞・作曲・振付は、辰野町東部保育園の保育士でもある女性消防団員が担当しました。歌詞は1番を火災対応、2番を震災対応、3番を水害対応として構成し、サビの部分ではそれぞれに「大きな声で大人を呼んで 煙を吸わずにしゃがむ」「揺れたら頭を守って 机の下に入ろう」「川には一歩も近付かないで おうちの人から離れない」と繰り返しのフレーズを設け、約束を覚えたら「キッズファイアヒーロー」に変身できるんだという内容になっています。完成までには園児の意見も取り入れながら試行錯誤を重ね完成度を高めました。

完成した防災体操は女性団員の指導により、東部保育園の年少以上の園児が覚え、この光景を辰野町の行政放送「ほたるチャンネル」のスタッフにより撮影。DVDに収録し、辰野町内の保育園、幼稚園に配布しました。各保育園では運動会や発表会のプログラムに組み入れて頂き、多くの園児に人気の体操になりました。

10月に開催された消防広場では、辰野町消防団のヒーロー戦隊「消防戦隊ダンインジャー」のショーの中で、ダンインジャーや消防団員と一緒に小さな子どもたちにも体操をしてもらい、より消防団を身近な存在として感じてもらう事が出来ました。



活動内容

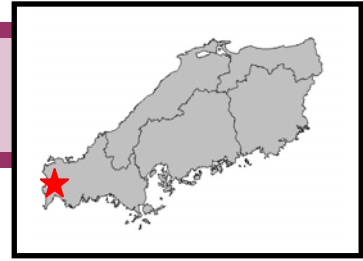
2 特記事項

この防災体操が新聞やテレビニュースにより報道され、町外の保育園や教育委員会からもお問い合わせを頂き、多くの皆様に今回の取り組みを知っていただく事が出来ました。また町の行政放送で繰り返し放映され、子どもだけではなく、大人の方からも「親しみやすく楽しい。」などの評価を頂く事が出来ました。

この体操は動画投稿サイト YouTube でご覧いただけます。是非皆さんも覚えて踊ってみてください。



キッズ消防団体験



消防団概要

都道府県名 山口県
消防団名 下関市消防団
実員数 1,951名〔うち女性団員63名〕
消防団事務局 下関市消防局 警防課
電話番号 083-233-9112
HPアドレス <http://www.svfc.jp>

1 活動内容

下関市消防団では、平成14年4月に女性消防団員を採用し、平成17年4月から女性消防団員を対象とした研修を年10回程度実施して、消防団員としての知識・技術の向上を図っています。

この研修の中で生まれた「キッズ消防団体験」は、キッズニアをヒントに、消防団活動の体験を通じて消防団を学んでもらうことを目的として年に数回実施しますが、その都度子どもたちには大人気となります。

その内容は、イベント等で子どもに防火衣や刺し子を着せ、団員と一緒に積載車等の車両点検を体験するもので、消防団のPR効果以外にも、子どもたちは自ら体を動かして消防団活動を体験してもらうことができます。

さらに、親は子どもが積載車等に乘っている写真やビデオをとることができ、親子で楽しめる仕組みになっています。このように幼児教育を通じて、次の世代の団員確保や、親子で消防団を楽しく認知してもらえるとといった効果があります。

活動内容



下関市では、女性消防団員の活性化によって、消防団全体が盛り上がっています。平成 19 年に 1,860 人であった団員は、1,951 人となり条例定数の 1,977 人まで残り 26 人という水準に達しており、各分団に所属している女性消防団員が、各々の地域のイベントで様々な活動をすることで消防団を P R しています。

女性消防団員の役割が取りざたされている中、下関市消防団では、年に約 10 回の研修を通じて自らの道を見出し、軽可搬ポンプ操法大会や、男性に混じってポンプ操法大会にも出場しています。

また、在団歴が 10 年を超えた女性団員は、各分団の中でも存在感を発揮し、地域の文化祭やお祭りなど各種イベントでは、欠かせないものとなっています。

今後も様々な取り組みを実施し、やりがいのある消防団組織を作っていくことで、消防団の増員や組織の強化ができるよう、さらに知恵を絞っていくつもりです。



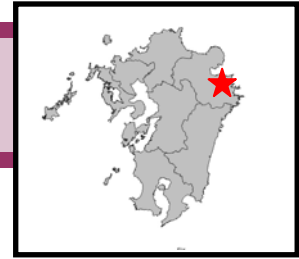
特

記

事

項

臼杵市連合消防団の取組み



消防団概要

都道府県名 大分県
消防団名 臼杵市連合消防団 臼杵消防団・野津消防団
実員数 786名〔うち女性団員10名〕
消防団事務局 臼杵市消防本部 総務課消防団グループ
電話番号 0972-62-2303
HPアドレス <http://www.city.usuki.oita.jp/>

1 活動内容

第28回ちびっこ消防士防火運動会の取組み

【目的】

運動会を通じて幼年消防クラブ員の知識の向上を図ると共に、クラブ員及び指導者の相互の親睦を図り、さらに市民の防火意識の高揚を図ることを目的とし、11月12日に市内12の幼稚園、保育園児、消防団員約700名が集まり、ちびっこ消防士は、消火活動を模した障害物競争や玉入れなどにチャレンジしました。

臼杵市連合消防団災害対応マニュアル(地震・津波編)の取組み

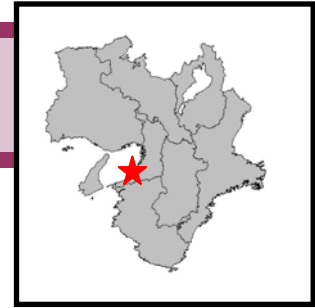
【目的】

この取り組みは、地震・津波により、われわれ消防団員に大きな苦難をもたらしました「阪神・淡路大震災」と「東日本大震災」を教訓に東北で被災した地域と同じ地形を持つ臼杵市において、地震発生、津波注意報・警報及び大津波警報が発令された場合における「臼杵市連合消防団」として、また「消防団員ひとり一人」が取るべき基本行動を定めました。

マニュアルの特徴は、「地震津波発生時の参集基準・参集場所」を定めたこと「津波到達時刻15分前までに第二次活動拠点(10メートル以上)」に避難すること あらゆる活動中であっても退避する時期を失せず「退避するときは」逃げるのではなく地域の皆さんに「声かけ」を行い「率先避難」し多くの命を救うことを定め、春・秋に消防団員を集め周知し、地域での訓練でも生かしています。



消防団による小学校での避難訓練



消防団概要

都道府県名 大阪府
消防団名 泉佐野市消防団
実員数 130名〔うち女性団員0名〕
消防団事務局 泉佐野市 市長公室市民協働課危機管理係
電話番号 072-463-1212
HPアドレス
http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/jichi/menu/izumisano_syouboudan/index.html

活動内容

1 活動内容

火災や災害から守るため日頃から地道な活動をしている消防団のことを少しでも児童に知ってもらいたいと小学校からの要請を受け泉佐野市消防団では、平成14年から毎年、小学校の避難訓練に参加し、教室からグラウンドへの避難誘導や放水訓練を実施しています。

今年度は、各教室から避難してくる生徒の避難誘導や火災現場活動さながらの緊迫感ある放水訓練を披露しました。



特記事項

2 特記事項

児童からは、「近所のおじさんが私たちの命を守ってくれていることを初めて知った。」「大きくなったら消防団員になりたい」という感想がありました。

避難訓練に参加し、11年目を迎え、小学校の行事と定着していることから、児童の火遊びが原因となる火災の減少へと結びついています。

中学生に対する「防災スクール」



消防団概要

都道府県名 神奈川県
消防団名 横浜市神奈川消防団
実員数 395名〔うち女性団員67名〕
消防団事務局 横浜市消防局 神奈川消防署庶務課
電話番号 045-316-0119

HPアドレス

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/18syosyo/kanagawa/kanagawa-top.html>

活動内容

1 活動内容

(1) 目的

消防団員が不足している中、消防団員募集活動の一環として神奈川区内の公立中学校に呼びかけ、中学生が消防団の実施する防災指導を体験します。

これにより、中学生に防火・防災の知識習得と同時に、地域防災に付与する消防団活動を直に見つめる機会を作り、将来の消防団員への入団促進へ繋げるものです。

(2) 経緯

神奈川消防団は、団員募集活動を地域行事でのチラシ配りやブースの設置。自治会等の掲示板へのポスター掲出等の従来のPR活動を行っていましたが、効果はあまりあがりませんでした。

そこで、短期的な募集活動だけでなく、中・長期的な募集活動の一環としても取り組む必要があり、消防団員を育成するという主眼から「防災スクール」が始まったものです。

(3) 内容

1年生：三角巾・ロープ取扱い

2年生：搬送法・携帯発電投光機取扱い

3年生：心肺蘇生法・AED取扱い



心肺蘇生法（3年生）



AED取扱い（3年生）

活 動 内 容



搬送法（2年生）



携帯発電投光機取扱い（2年生）



ロープ取扱い（1年生）



三角巾（1年生）

特 記 事 項

2 特記事項

消防団員が講師となり、中学生を指導することにより指導者の自覚と、消防団員としての責任感が確立され、取組みが8年に及んだことで、毎年「防災スクール」を行う公立中学校では、既に主要な行事となりました。

さらに、本年度より防災スクールで学んだ中学生は、地域防災拠点訓練に参加して地域住民と一緒に訓練し、地域の防災活動に貢献する姿は確実に地域の繋がりを強くしており、長期的な消防団員募集活動だけでなく、地域の防災力向上にも大変貢献しています。

応急手当の普及啓発活動



消防団概要

都道府県名 神奈川県
消防団名 横浜市伊勢佐木消防団
実員数 117名〔うち女性団員22名〕
消防団事務局 横浜市消防局 中消防署庶務課消防団担当
電話番号 045-251-0119
HPアドレス <http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/>

1 活動内容

伊勢佐木消防団では、都市型の消防団として応急手当の普及啓発活動を推進しております。

応急手当の必要性を感じ、2002年に3名の団員が応急手当普及員の資格を取得して、有資格者が講師となり、伊勢佐木消防団団員に対する普通救命講習会を実施してまいりました。

2004年7月に一般市民にAEDの使用が認められ、この事が大きなきっかけとなり「救える命を救おう・自分の大切な者は自分で守ろう」をスローガンにI・S・T(伊勢佐木スプレッドメンバーチーム)が発足しました。現在は20名の応急手当普及員が中心に、地域の住民に対する救命講習の実施、毎年春には、イベント会場においてのAED取扱心肺蘇生法の重要性と必要性を多くの地域住民の方々に対する啓発活動を実施しております。

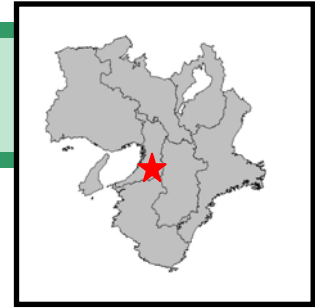
独自の行事としては、毎年秋の火災予防週間にイセザキモールの数箇所に於いてAED取扱法・心肺蘇生法を実施しながら消防団員募集を行ない、消防団の存在価値をアピールしております。

年間の住民に対する応急手当普及啓発活動

- 3月 大岡川さくら祭り、福富町西公園・さくら栈橋
- 5月 横浜開港祭、横浜公園
- 10月 ハローよこはま、中区民祭、大通り公園
- 11月 秋の火災予防週間、イセザキモール



大阪府下初の重機隊が発足



消防団概要

都道府県名 大阪府
消防団名 富田林市消防団
実員数 303名〔うち女性団員0名〕
消防団事務局 富田林市消防本部 消防団係
電話番号 0721-25-1123
HPアドレス syoubou-somu@city.tondabayashi.lg.jp

1 活動内容

平成25年11月1日、本市消防団に大阪府下で初めての重機隊が発足しました。重機隊は、人命救助が必要な災害現場で建設重機などを使用した活動を行うもので、現有の消防団員の中から、重機を所有する団員や操作の技能を有する団員で組織されています。

普段は地域の各分団に所属し、人命救助が必要とされる、ひっ迫した災害現場において、消防本部救助隊と連携した救出救助活動を行います。

近年、全国でゲリラ豪雨や台風の襲来による土砂災害などが多く発生していますが、市民の大切な命を守るため、いち早く対応でき、地域防災力の向上に繋がるものと考えています。

活動内容



練馬消防団救急救命部会



消防団概要

都道府県名 東京都
消防団名 練馬消防団
実員数 270名〔うち女性団員23名〕
消防団事務局 練馬消防署 警防課防災安全係
電話番号 03-3994-0119
HPアドレス nerima2@tfd.metro.tokyo.jp

活動内容

1 活動内容

練馬消防団では、団員全てに上級救命講習の受講を義務づけ、区民等に対して応急救護技術を普及啓蒙し、地域の防災力を向上させています。また、応急手当普及員・指導員を中心に救急救命に関する知識・技術の研究及び署隊との連携による、関係行事への参加並びに部会員相互の連絡協調等、積極的に活動しています。

練馬区では、区立の小中学校（99校）全てで避難拠点を運営し訓練を実施しており、救命部会も訓練指導で積極的に参加しています。また、中学校・高校で実施している命の尊さ講座における、普通救命講習の指導も実施しております。



手話講師 川津 亮先生



手話通訳 小川 加代子先生

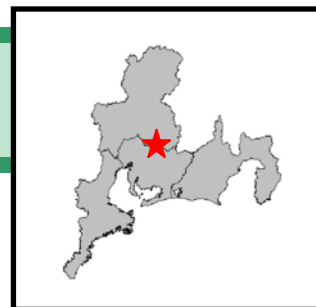
「手話で防災」をテーマに、「練馬区聴覚障害者協会」監事、「練馬区手話講習会」事務局長の川津先生を講師に迎え教養を実施しました。「東日本大震災で聴覚障害者が健常者の2倍の死者であった」という講師の話に、参加団員が胸を熱くして熱心に手話に取り組んでいました。

特記事項

2 特記事項

消防団員イコール、「男性」というイメージが強いですが、震災時等大規模災害発生時には、きめ細やかで優しい対応のできる女性消防団員の活躍する場が拡大することから、女性団員のモチベーション維持に効果があります。

機能別消防団員（救命処置指導隊）



消防団概要

都道府県名 岐阜県
消防団名 多治見市消防団
実員数 517名〔うち女性団員60名〕
消防団事務局 多治見市消防本部 消防総務課
電話番号 0572 22 9231
HPアドレス
<http://www.city.tajimi.lg.jp/kurashi/bosai/shobo/shobodan.html>

1 活動内容

【機能別消防団員（救命処置指導隊）概要】

名称：多治見市消防団救命処置指導隊（通称：MEDIC - T）
任務：救命処置の指導活動を主な任務とする。
任命：基本団員の要件に加え、応急手当指導員の資格を有するもの。
定数：37名（平成25年4月1日現在33名が在職）

活動内容

多治見市消防団では、平成21年4月1日に機能別消防団員を設置しました。名称は救命処置指導隊（通称：MEDIC - T）で、日本一救命率の高いまちを目指すため救急講習の指導に特化した機能別消防団員26名で組織しました。

発足当時は消防署員数名と救命処置指導隊で救急講習を開催し、救命処置の普及を行っていましたが、現在では消防署員1名のみが救急講習に同席し、救命処置指導隊数名の隊員が主体となり普及活動を行うことも出来るようになりました。

発足から平成25年3月までの4年間、延べ1,782回の救急講習に出動し、43,078人に指導を行い、多くの市民へ救命処置の普及を行いました。



特記事項

2 特記事項

今後も救急講習を通じて、より多くの市民へ救命処置の普及を継続すると共に救命処置指導隊のみで救急講習を開催し、救命処置の普及を行えるような体制づくりを検討していきます。

高崎市消防団学生分団発足



消防団概要

都道府県名 群馬県
消防団名 高崎市消防団
実員数 1,386名〔うち女性団員2名〕
消防団事務局 高崎市等広域消防局 警防課警防係
電話番号 027-324-2216
HPアドレス shoubou-keibou@city.takasaki.gunma.jp

1 活動内容

団員の減少と高齢化が進む中、地域の消防力、防災力の低下を防ぐため、若い世代に対して消防団に対する理解を深めてもらおうと、10月1日に、市内5大学の4年制大学の学生を対象に定員を20名として発足をした。

学生分団を設置することで組織の活性化や将来の団員の確保、若い世代へ防災意識の普及啓発、学生が地域貢献に誇りを持てる、高崎市の学生分団の経験を生かし、卒業後も各地元で消防団に入団し、全国的な団員確保に貢献するなどの効果を期待している。

(1) 広報活動

- 活動内容
- ・消防防災に関する各種の行事に参加し、消防団活動への理解を深める広報活動を実施する
 - ・消防局主催のイベント(ファイヤーフェスタ)などに学生分団を紹介するとともに、消防団専用ブースを設け学生分団を中心として消防団員募集についての広報を主体的に実施する。
 - ・福祉施設、幼稚園、保育園、小学校、大学などへ訪問し、救急法の指導や防災に関する行動、マニュアルなどを指導し、市民の安心安全に貢献する。

(2) 災害支援

- 内容
- ・市内で発生した災害で、後方支援活動及び救急救護等を実施
 - ・市内で大規模な災害が発生した場合には、市災害対策本部や消防局と連携し、避難者の支援や物資補給等の後方支援を実施するとともに、救援ボランティアの受け入れ等について、連携し活動する。
 - ・避難所等での外国人避難者に対する通訳活動の支援等を実施する。

活 動 内 容

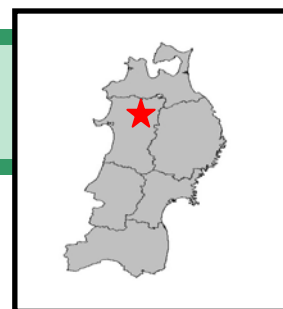


特 記 事 項

2 特記事項

学生分団については高崎市内にある5大学の学生を対象に定員20名とし11月1日現在10名の学生(うち女性2名)が団員として活動しています。また、群馬県内初の学生分団ということで様々な報道機関に取り上げられることにより消防団のPRと共に団員確保に繋がると考えています。今後の活動としては研修や訓練等を重ねて知識や技術の習得はもちろんのこと、学生分団として「どのような活動をしたか」「どのような訓練をしたか」「どのようにすれば魅力的な消防団になるか」など団員自身で考え、企画立案等をして活動をしていきたいと考えております。

大学生による機能別消防団員を発足



消防団概要

都道府県名 秋田県
消防団名 大館市消防団
実員数 1,115名〔うち女性団員74名〕
消防団事務局 大館市消防本部 消防総務課総務係
電話番号 0186-43-4152
HPアドレス <http://fd-odate.la.cocacn.jp/index.html>

1 活動内容

大館市消防団では、平成25年4月1日、市内にある秋田看護福祉大学生による機能別消防団員を発足させました。大規模災害時の避難所運営や応急手当、後方支援活動に特化した団員で、大学で学んだ知識・技術を地域防災力の向上に生かすとともに、市民の安全・安心に寄与する団員です。

平成25年11月1日現在27名(男3名・女24名)の機能別消防団員がおり、秋の火災予防週間中の11月3日、大館市天下町町内会で行われた防災訓練に参加し、応急救護所設営訓練や救護所でのトリアージ訓練などを行いました。

大学在学中のみの活動ですが、大館市の地域防災力の向上に大きく寄与しています。

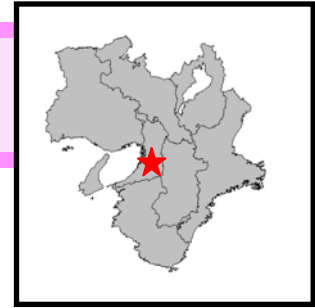


活動内容

2 特記事項

防災訓練に参加した市民は、大学生の行動力を目の当たりにし、いざという時、機能別消防団員は頼りになる存在であると心強く感じていました。

女性分団の発足



消防団概要

都道府県名 大阪府
消防団名 大阪狭山市消防団
実員数 113名〔うち女性団員8名〕
消防団事務局 大阪狭山市消防本部 総務グループ
電話番号 072-366-0059
HPアドレス shoubou-soumu@city.osakasayama.osaka.jp

活動内容

1 活動内容

本年8月に女性分団を発足し、大阪府消防大会及び市総合防災訓練並びに秋の火災運動に伴う街頭キャンペーンに参加しました。



集合写真



秋の火災予防運動



規律訓練



総合防災訓練

特記事項

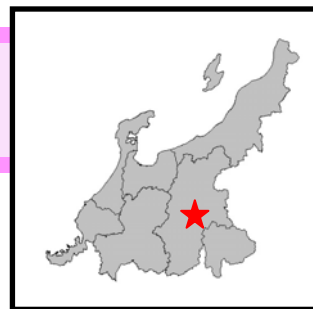
2 その他消防団の活動

大阪狭山市消防団では、応急手当普及啓発活動や防火防災啓発活動、消防団行事（出初式、市防災訓練、火災予防街頭キャンペーン、歳末警戒等）、災害時支援活動（大規模災害時における避難誘導、安否確認、救急・救護食糧等の供給補助等）を行っています。

3 特記事項

今後については、応急手当普及員や応急手当指導者の資格を取得し、応急手当の普及啓発活動や、住宅用火災警報器の設置促進などの火災予防啓発活動の実施、災害時には、救護所や避難所運営等の後方支援活動等、男性消防団員や消防職員と連携が図れるよう訓練等を積み重ね、本市にふさわしい女性分団の確立を目指します。

女性団員が魅力発信！



消防団概要

都道府県名	長野県
消防団名	諏訪地域6市町村各消防団
実員数	3,018名〔うち女性団員83名〕
事務局	諏訪消防協会
	電話番号 0266-57-2902

1 活動内容

【エルシーブイ-FM消防番組制作委員会】

諏訪地域6市町村消防団で構成する諏訪消防協会では、地域における消防団活動のPRをコミュニティFMラジオにより行うため、女性消防団員による番組制作委員会(名称:エルシーブイ-FM消防番組制作委員会)を設置し、女性消防団員がパーソナリティとなり諏訪地域6市町村消防団の情報提供、身近に役立つ防災知識等の普及啓発を行っている。

毎週月曜日から金曜日朝6時50分から6時55分の「こちら消防団情報局」番組内で、6市町村女性消防団員の委員が1週間交替でパーソナリティを担当し、団員インタビューを交えながら、団活動の紹介や火災予防啓発のほか、消防ポンプ操法大会、消防ラッパ吹奏大会や火災予防運動に合わせた特番等を放送している。

平成25年11月3日に開催された長野県総合防災訓練においては、阿部長野県知事への取材をはじめ、女性ならではのきめ細やかな描写で放送を行い、リスナーから大きな反響があった。

活動内容



【女性消防団員研修会】

諏訪地域の女性消防団員が消防団活動を行うに当たって日頃感じている疑問や問題点について、先進的事例等の講演会や活動報告等相互に情報交換することで新たな視点を取り入れるとともに、諏訪地域女性消防団員の連帯感の強化を行い、より活発な消防団活動を目指すため、毎年女性消防団員研修会を行ってきた。

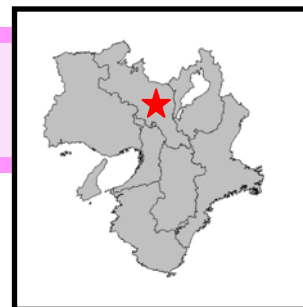
これまでは女性消防団員が独自に行ってきたが、今年度から諏訪消防協会の事業として行われ、その第1回目となる研修会を平成25年12月7日に茅野市において開催した。

各団から推薦された女性消防団員とエルシーブイ-FM消防番組制作委員の活動報告と意見発表のほか、消防庁消防団員確保アドバイザーの現役女性消防団員を講師にお招きし、女性消防団員の必要性、女性消防団員の入団促進等について講演をいただき、地域における女性消防団員活動の重要性・役割を改めて認識する研修会となった。

また、研修会においてエルシーブイ-FM消防番組制作委員会による公開録音も行い、後日放送で女性消防団の入団促進について啓発を行った。



女性のパワーで地域防災力の向上



消防団概要

都道府県名 京都府
消防団名 南丹市消防団
実員数 1,512名〔うち女性団員19名〕
消防団事務局 南丹市総務部総務課内
電話番号 0771-68-0002

活動内容

1 活動内容

・広報・PR活動

CATV、ちらし、ポスター、広報誌、イベントを活用した火災予防啓発、消防団活動PRを行っています。

特に、CATVによる啓発については「火の用心」というタイトルの消防啓発コーナーを女性分団で担当し毎月放送しています。企画立案、原稿作成、撮影、収録などを行



い、季節ごとの防災対策に触れたり、子ども向け防火人形劇などを織り交ぜながら、消防団活動PRを行い、今年で2年目を迎えております。

またチラシやポスターの作成、広報誌に防災コーナーを設けて、南丹市消防団の広報担当としての活動を行っています。

・高齢者防火訪問活動

消防署職員と地域の消防団員、女性団員の3人一組で、春季・秋季火災予防運動期間を中心に高齢者家庭等を訪問し、防火点検、防火指導などを行っています。訪問させていただいた高齢者には、防災グッズを入れた女性分団手作りの「非常持ち出し袋」を配布し、防災意識向上に努めています。

特記事項

2 特記事項

・広報・PR活動

CATV、ちらし、ポスター、広報誌、イベントなどで広く市民に火災予防啓発、消防団活動PRを行うことで、防災啓発の周知、消防団活動に対する理解も高まっています。特に次世代を担う幼少期の子どもたちに、正しい火の使い方、災害の恐ろしさを学ばせることにより、防火、防災意識の向上に繋がっています。

・高齢者防火訪問活動

訪問時に女性団員がいることで、高齢者の方々にも受け入れていただきやすいと好評です。1軒1軒を訪問する地道な活動ですが、地域防災の事業として継続して取り組んでいく予定です。

丁寧な接遇で様々な活動を展開



消防団概要

都道府県名 茨城県
消防団名 桜川市消防団
実員数 565名〔うち女性団員12名〕
消防団事務局 桜川市役所 市民生活部生活安全課
電話番号 0296-75-3111
HPアドレス <http://www.city.sakuragawa.lg.jp>

活動内容

1 活動内容

(1) 普通救命講習

桜川市消防団では、団員を対象とした普通救命講習を地区ごとに年3回実施している。女性団員は入団すると応急手当指導員の資格を取得し、その講習で男性団員を指導する。丁寧な接遇が受講する団員の意欲を高め、以前に比べ参加率も向上し、指導する側と受ける側、双方の充実が、団全体の士気高揚に寄与している。

(2) 住宅用火災警報器設置啓発活動

秋季火災予防運動では、住宅用火災警報器設置啓発活動として、地元スーパーの店頭においてチラシやデモ機を使って住宅用火災警報器の重要性を説明した。住宅用火災警報器の大切さを広報するとともに、女性分団の活動PRにおいても非常に意義のある活動となった。

(3) 小学校防災訓練

今年度2回実施した小学校防災訓練では、救出・救護訓練として児童及び保護者、地域住民に対し、竹竿と毛布での応急担架の作成や三角巾法、搬送訓練を指導した。参加者は驚きながら興味深そうに一生懸命学んでいた。こどもから大人まで地域を巻き込んだ防災訓練の中心で参加した女性団員は、地域防災力の向上に貢献している。



住宅用火災警報器設置啓発活動



小学校での救出・救護訓練

勉強会で女性団員の防災知識の向上



消防団概要

都道府県名 茨城県
消防団名 常総市消防団
実員数 472名〔うち女性団員18名〕
消防団事務局 常総市役所 市民生活部安全安心課防災係
電話番号 0297-39-6000
HPアドレス bousai@city.joso.lg.jp

1 活動内容

女性分団は、月1回の勉強会を開催し、規律訓練や初期消火・応急手当・軽可搬ポンプの取扱いなど、消防職員や男性団員の指導により消防団員としての知識の向上に努めています。首都直下型地震などの大規模災害が懸念される中、「常総市消防団震災時活動計画」では震度5弱以上の場合、女性団員は自宅待機とし、その後避難所等による災害弱者対策に備えることとなっており、また、市が開催する防災訓練に参加するなど防災知識の高揚にも努めています。



活動内容

また、平成25年10月17日、横浜市消防訓練センターにおいて、日頃の訓練により培った消防操法技術を競い合う全国女性消防操法大会に茨城県代表として見事な操法を披露しました。

大会までの長い操法訓練を通じ、女性分団の士気の高揚となったほか、迅速・確実かつ安全に行動するという消防用機械器具の取扱い及び操作の基本について習得することが出来ました。



女性の能力を活かし地域に貢献



消防団概要

都道府県名 群馬県
消防団名 太田市消防団
実員数 652名〔うち女性団員19名〕
消防団事務局 太田市消防本部 消防団課
電話番号 0276-33-0201
HPアドレス <http://www.city.ota.gunma.jp/>

活動内容

1 活動内容

太田市消防団は、時代に即した新しい消防団として、その活動に女性の能力を活用することが必要と考えています。このことから女性消防団員の充実強化として、平成24年度から様々な活動や訓練に参加し、市民より期待をされているところです。

防火指導

・東日本大震災、岩手県釜石市の小中学生ほぼ全員約3千人が防災教育の成果を生かし、津波から避難した「釜石の軌跡」を参考に、幼児期や小学校低中学年代の多くの子供達に防災教育を進めるため、女性消防団員による「読み聞かせ」を放課後児童クラブ等で実施しています。

放水訓練・救命講習

・災害が大きいほど、地域密着性や大きな要員動員力を有する消防団の役割の重要性が再認識されますが、この様な中で女性消防団員によせる期待も大きくなっています。これらのことから女性消防団員の技術の向上、防災知識を深めるために、消防操法訓練を重ね第21回全国女性消防操法大会に出場、また、災害時の負傷者の応急救護処置などにも対応できるよう救命講習を受講し訓練しています。

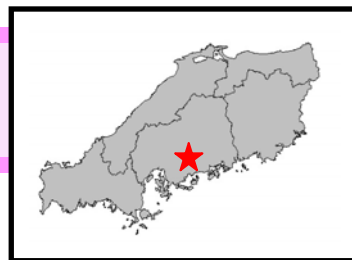


特記事項

2 特記事項

太田市では、「家族に消防団員がいて良かった、会社に消防団員がいて良かった」と思えるような環境を築いていきたいと考えています。

女性消防団による防火・予防広報活動



消防団概要

都道府県名 広島県
消防団名 府中市消防団
実員数 876名〔うち女性団員9名〕
消防団事務局 府中市総務課
電話番号 0847-43-7211
HPアドレス <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp>

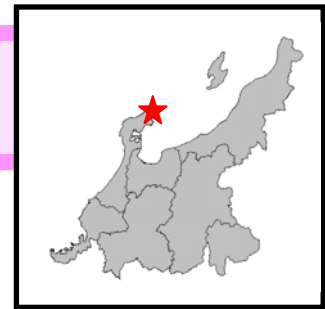
1 女性消防団発足と活動事例

府中市消防団は、各分団での団員募集活動の強化を図るとともに、時代に即した新しい消防団として、その活動に女性の能力を活用することが、不可欠と考え、また、女性ならではのソフトな対応など、女性の視点での気配りを大事にした予防活動の充実を目的として、平成24年5月より女性消防団員の募集を開始し、平成24年11月に5名で発足しました。団員は、常備消防と連携し、住宅用火災警報器の設置率調査を行うとともに、夏祭り等のイベントにおいて市民へ設置PR等の積極的な防火広報活動を行っています。

活動内容



女性団員による手作りペープサートを使った防火指導



消防団概要

都道府県名 石川県
消防団名 珠洲市消防団
実員数 249名〔うち女性団員11名〕
消防団事務局 奥能登広域圏事務組合 珠洲消防署
電話番号 0768-82-0247
HPアドレス <http://www.city.suzu.ishikawa.jp/syoubou/>

活動内容

1 活動内容

この活動は、市内保育所で行われている「読み聞かせ」という行事を行なった保護者から、同じ職場であった女性団員が「防火に関する読み聞かせ的なことは出来ないか」との要望を受け、手作りペープサートを作成したことがきっかけで始まった。

その後、春季及び秋季火災予防運動期間中に市内の保育所、幼稚園を訪問し、手作りの「防火ペープサート(紙人形劇)」を使った防火指導を実施し、幼児による火遊び等を未然に防ぐなど、幼児期における防火意識の高揚を図っている。



特記事項

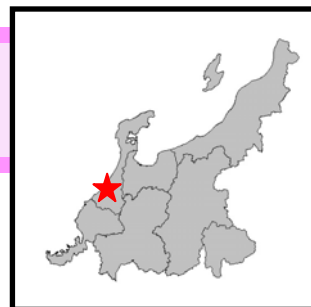
2 特記事項

珠洲市の女性団員においては、全員が仕事と家庭を両立しなければならない環境から、消防団活動は、かなりの負担となっていると考えられるが、仕事後に消防署へ立ち寄り、ペープサートの作成及び防火指導の練習を行なう等、積極的に取り組んでいる。

保育所及び幼稚園の防火指導については、女性ならではのソフトな対応と団員の中に現役の保育士がいることで、より一層分かりやすく、子ども達に防火指導を行なえると保育所や保護者からとても好評である。

今後もペープサートを使った防火指導を継続していくとともに、さらには幼児から高齢者までと、幅広い人々に、更なる防火・防災意識の啓発に努めていきたいと考えている。

魅力ある消防団へ



消防団概要

都道府県名 石川県
消防団名 小松市消防団
実員数 413名〔うち女性団員15名〕
消防団事務局 小松市消防本部 総務課企画教養担当
電話番号 0761-20-2705
HPアドレス www.komatsu-fire.com

1 活動内容

組織再編・機能別

- ・全分団員の自宅に掲げる表示プレートのリニューアル
- ・自営業を営む団員用に「消防団員のお店」と書いたお店用シールの新規作成
広報・PR活動、防火・予防活動
- ・小松市消防団広報誌の発行「KFB（コマツファイヤーブリゲード）：年2回発行」
- ・小松市防火アドバイザー認定者による防火訪問「一人暮らし高齢者宅住宅防火診断：年2回」
（年1回消防団員を対象とする「小松市防火アドバイザー研修」がある。）
- ・寸劇を交えて幼稚園児に火の怖さ等を教える「幼児防火教室：女性分団員実施」
- ・地域の消防団員と女性分団員による「夜間巡回：月2回」
- ・女性分団員による「救急講習会」

災害対応・訓練

- ・地域住民や常備と連携した「自主防災訓練や文化財防ぎょ訓練」
- ・企業自衛消防隊と消防隊と連携した「自衛消防訓練」
- ・年2回全分団参加による「大規模火災防ぎょ訓練」

活動内容



表示プレートとお店用シール



幼児防火教室

活 動 内 容



文化財防火訓練



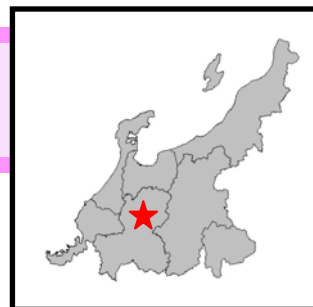
広報誌：KFB（コマツファイヤーブリゲード）

特 記 事 項

2 特記事項

- ・近年、東日本大震災をはじめ、地震、局地的な豪雨等による災害が頻発し、消防団に対する市民の期待が高まっており、出初式、総合訓練における来場者、応援者が年々増している。
- ・消防団の魅力アップとして、地域の自主防災への参加や、一人暮らし高齢者宅住宅防火診断を通して、地域の人と触れ合う機会を増やし、地域の安全・安心に努めている。

「女性消防団員も災害から地域を守るために。」



消防団概要

都道府県名 長野県
消防団名 南箕輪村消防団
実員数 224名〔うち女性団員26名〕
消防団事務局 南箕輪村役場 総務課管理防災係
電話番号 0265-72-2104
HPアドレス <http://mmmfc.com/>

活動内容

1 活動内容

南箕輪村消防団の女性消防団員は、平成26年1月1日現在で26名が任命され消防団活動を行っています。各分団や救護班、ラッパ班に所属し男性と同様に火災や災害などの消防・防災活動や、毎月の機械器具点検、広報活動、冬季間における夜警巡視などを行っています。

当村では平成6年に女性が初めて消防団員に任命されて以来、年々女性消防団員数は増加を続けています。最近では村職員の採用にあたって積極的に消防団へ入団するよう勧誘を行っているため、男性職員はもとより保育士等の女性職員も入団しております。

また、ここ数年は村消防ポンプ操法大会小型ポンプ操法の部において、女性で構成されたチームが優勝したり、男性との混合のチームで大会へ出場したりするなど、その活躍には目覚ましいものがあります。なかでも、平成25年度に開催された第21回全国女性消防操法大会では、各分団から選抜された7名が、優良賞を受賞することができました。

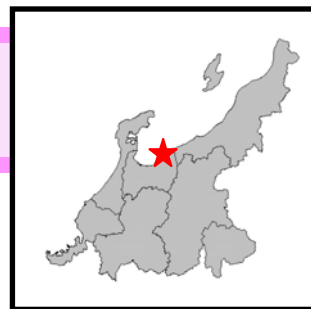


特記事項

2 特記事項

各分団に所属している女性消防団員は応急救護だけではなく、実際の火災現場でもポンプを操作するなど男性と同様に活動しています。女性消防団員の活躍は、これまでの消防団に対するイメージを一新しています。今後も女性消防団員と一緒に考え、消防団の充実強化につなげたいと考えています。

多岐にわたる女性消防団活動



消防団概要

都道府県名 富山県
消防団名 朝日町消防団
実員数 271名〔うち女性団員6名〕
消防団事務局 新川地域消防組合 朝日消防署総務課
電話番号 0765-83-0009
HPアドレス <http://www.niikawa119.jp/>

活動内容

- 1 活動内容
 - ・救急フェア
血圧測定・救命講習を実施
 - ・朝日町防災訓練
役場、地区住民と連携し消火器の取扱い・救命講習・煙道体験・放水訓練等を実施
 - ・住宅用火災警報器街頭広報
署員と駅にて女性消防団員が、住宅警報器設置促進キャンペーン実施
 - ・一人暮らし高齢者宅防火診断
町内会、担当分団、女性消防団員が、高齢者一人暮らしを対象に防火診断実施
 - ・秋季火災予防運動
全分団が住宅火災警報器の設置追跡調査及び一部分団が防火診断を実施



救急フェア



応急手当講習



街頭広報

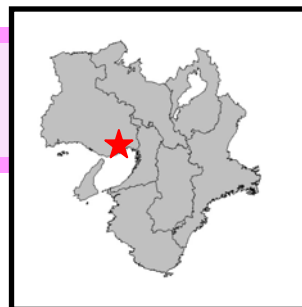


一人暮らしの高齢者へ防火診断

特記事項

- 2 特記事項
 - ・今後、自治振興会等と連携し訓練を実施していきたい。

女性消防団員の夢



消防団概要

都道府県名 兵庫県
消防団名 神戸市兵庫消防団
実員数 150名〔うち女性団員7名〕
消防団事務局 神戸市消防局 警防部警防課消防団係
電話番号 078-322-5748

1 活動内容

神戸市では阪神・淡路大震災を教訓に、消防団の日頃の訓練成果を披露し、各消防団がその技術を競い合う場として「神戸市消防団小型動力ポンプ操法大会」を隔年で開催しています。

本大会は今回で第11回目の開催となりましたが、より実戦的な「電撃操法」を基本としており、本大会で優勝することは神戸市の10消防団にとって大きな目標のひとつとなっています。

私達兵庫消防団からは第4分団が出場しましたが、隊員選抜にあたっては、日頃から団活動に積極的な女性団員を指揮者とする編成としました。

指揮を担当した女性消防団員は、当初は声も小さく、動作もぎこちなさが目立つなど苦戦していましたが、訓練を重ねる度に指揮者として必要な状況判断と大声による号令が身に付いていきました。

また他の隊員も指揮の上達に呼応するように組織的な活動が出来るようになり、「良い思い出づくり」に過ぎなかった目標が「優勝」という明確な目標に変わってきました。

大会では特に強豪と言われている消防団を僅かに抑え、見事「優勝」という栄誉を勝ち取ることが出来ました。



活動内容



2 特記事項

兵庫消防団では、団員のサラリーマン化により、特に平日昼間の地域防災力を低下させていたことを踏まえ、女性消防団員の入団を進めています。

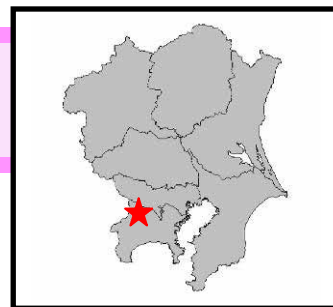
今大会で指揮者に抜擢した女性団員は平時の活動はもちろん、実災害においても指揮所の運営や情報収集などの業務にあたっています。

彼女は入団時から本大会への参加を夢見ていたそうですが、これまでの努力が消防団の雰囲気を変え、今回の抜擢に繋がったことは間違いありません。

女性の災害現場活動はまだ制約はありますが、活動する団員を指揮する役割においては十分可能であると考えています。

今回の優勝はそのことを十分証明したものであると考えており、今後も様々な女性の活動の場をつくり、女性が入団しやすい魅力ある消防団を目指していきます。

相模原市女性消防団「あじさい隊」



消防団概要

都道府県名 神奈川県
消防団名 相模原市消防団
実員数 1,557名〔うち女性団員30名〕
消防団事務局 相模原市消防局 消防総務課
電話番号 042-751-9116
HPアドレス <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/index.html>

活動内容

1 活動内容

相模原市消防団女性部「あじさい隊」は、平成13年6月1日に発足し、火災予防や応急手当の普及啓発活動、消防団のPR等の活動を行っています。現在は19名の女性が在籍しており、広報誌「火消しかわら版」の発行や、ちびっこに人気の小型動力ポンプ積載車「あじさい隊号」を活用した防火指導のほか、アイデアいっぱいの手作り啓発グッズによる広報活動を行っています。



特記事項

2 特記事項

「あじさい隊」が発行している広報誌「火消しかわら版」は、取材から編集、記事作成までメンバーの手作りで、消防団員に配布しているほか、さまざまなイベントなどで市民や企業に配布しており、好評を得ています。

メンバーひとりひとりが心を込めて作成している手作り啓発グッズは、新製品を楽しみにしている市民もいるほど人気があります。

メンバーからは、「消防局であじさい隊の仲間とおしゃべりをしながらのグッズ作成はとても楽しく、グッズを受け取ってくれた市民の嬉しそうな顔を見ると、やりがいを感じます。」との声も上がっています。

女性消防団員基礎教育研修



消防団概要

都道府県名 神奈川県
消防団名 厚木市消防団
実員数 563名〔うち女性団員10名〕
消防団事務局 厚木市消防本部 消防総務課消防総務係
電話番号 046-223-9366
HPアドレス <http://www.city.atsugi.kanagawa.jp>

1 活動内容

厚木市消防団女性消防団は、平成17年7月の発足以来、火災予防広報や応急手当普及啓発活動などを中心に、地域の安心・安全を守るため精力的な活動を続けています。昨今では、南海トラフ巨大地震などの大規模災害の発生も懸念されており、これらの災害に確実に対応していくためには、女性消防団員も含めて団員一人ひとりの資質向上を図る必要があります。

このような状況を踏まえ、平成25年10月27日、神奈川県消防学校において、女性消防団員基礎教育研修を実施しました。

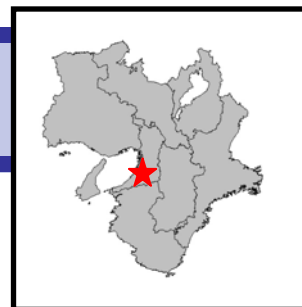
訓練では、消防団員の基本である訓練礼式や、応急手当訓練、放水訓練、大規模災害を想定した倒壊家屋からの要救助者救出訓練などを実施しました。想定訓練では、特殊な資機材は使わず、近くにある材木などを活用しながら、団員間で連携し迅速確実な活動を行うことができました。

参加した団員からは、消防団員として恥ずかしくないよう訓練を継続し、地域のために貢献していきたいとの意見がありました。

活動内容



消防団120年・自治体消防65周年記念式典を開催



消防団概要

都道府県名 大阪府
消防団名 和泉市消防団
実員数 358名〔うち女性団員0名〕
消防団事務局 和泉市消防本部 消防団事務課
電話番号 0725-41-6287
HPアドレス <http://www.city.osaka-izumi.lg.jp/syoubou/>

1 消防団120年・自治体消防65周年記念式典

和泉市消防団は、平成25年9月29日に和泉シティプラザ「弥生の風ホール」において、消防団120年・自治体消防65周年記念式典を市内外から多数のご来賓の出席のもとに開催しました。

第1部では、長年の消防団員の功績と、その家族の内助の功に感謝し、入団40年、30年及び20年以上の団員とご家族に対し、市長より感謝状の贈呈を受け、ご来賓の方々からご祝辞を頂きました。

第2部では、財団法人岩手県消防協会会長で岩手県一関市の大森忠雄団長を迎え「東日本 大震災を体験して」と題しての講演を頂き、東日本大震災で被災された方々のご冥福と一日も早い復興をお祈りするとともに、改めて被災地の惨状を思い出しました。

今、南海トラフ巨大地震等の大規模な地震発生の可能性が指摘されております。また、全国でも局地的な豪雨や竜巻の発生が後を絶ちません。

和泉市消防団としては、この式典を契機に地域防災の担い手として、地域住民の安心安全を願って、さらなる、地域防災力の向上に努めたいと思います。

活動内容



消防団の広報誌作成



消防団概要

都道府県名 埼玉県
消防団名 坂戸市消防団
実員数 237名〔うち女性団員15名〕
消防団事務局 坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部 庶務課
電話番号 049-281-3119
HPアドレス <http://sakado-hikesi.jp>

1 活動内容

消防団の活動を市民の方に伝えるため、市内全戸に年2回広報誌を発行しています。活動だけでなく、広報誌の中で団員の紹介を続けていることにより、顔の見える関係を築き上げていると思います。近年では、地域の自主防災組織からの消防訓練や女性部を中心とした救急講習の依頼が増加してきました。また、勧誘活動も積極的に行っており、地域の行事に積極的に参加させていただき、若年層や新しい住民層の団員確保に努めています。また、地域の小学校行事に参加し少年期から防火の芽を広げ、地域を守る未来の消防団員になってもらいたく消防団広報を行っています。これからも、地域住民が必要としている情報をさらに盛り込んで発行を続けたいと思います。

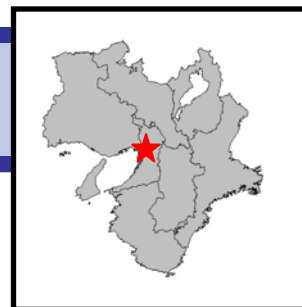


また、今年度は消防団120年・自治体消防65周年記念大会において、古式腕用ポンプの消防実技を披露しました。坂戸市消防団では、毎年、消防出初め式で披露していますが、記念大会の出場が決まり各分団から参加者を募ったところ定員を上回るほどで大会への意気込みを感じました。大会まで定期的に訓練を実施し、伝統の掛け声やポンプ車操法の訓練礼式を取り入れるなどして記念大会に出場しました。この大会を通じて、各分団との仲間意識も強くなり、今後の消防団活動で必要なものを学ばせて頂けたと思います。



活動内容

地域の自主防災組織の中核的役割を担う消防団



消防団概要

都道府県名 大阪府
消防団名 門真市消防団
実員数 226名〔うち女性団員11名〕
消防団事務局 門真市総務部危機管理課
電話番号 06-6902-1231
HPアドレス <http://www.city.kadoma.osaka.jp/>

1 活動内容

門真市消防団は「地元の災害は自分たちで守る!」という郷土愛を胸に、火災発生時の初期消火活動と火災予防の啓発活動に従事してきました。

平成22年度にNPO法人防災士機構が認定する“防災士”の資格取得をきっかけに、翌23年度から5年計画で人材育成のため、「防災士養成講座」と「普通救命講習」を受講し、平成25年度は20名の資格取得を見込み、平成27年度には累計100名の消防団員が防災士の資格取得をめざしています。

平成25年度は、地域のイベントである10月14日開催の「ふれ愛・にぎわい! ラブリーフェスタ'13」、11月17日開催の「弁天池ふれあい感謝祭」において防災啓発コーナーを設け、消火器訓練やミニ消防車の撮影会に加えて、緊急時持出品や備蓄物資の展示を行いました。また、二島小学校区の防災訓練では、災害時の救出活動にあたる救助用資機材搭載型車両を展示し、火災予防だけでなく防災・減災の啓発活動にも力を入れています。

平成25年12月に『消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律』が施行されたことを踏まえ、消防団が地域の自主防災組織の中核的役割を果たすべく、門真市や守口市門真市消防組合消防本部と連携し、門真市民の安全と安心の向上に取り組んでいきます。

活動内容



救助用資機材搭載型車両



女性消防団員による火災予防活動

消防団による火災のないまちづくり



消防団概要

都道府県名 茨城県
消防団名 守谷市消防団
実員数 259名〔うち女性団員12名〕
消防団事務局 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 守谷消防署総務2係
電話番号 0297-46-0119

1 活動内容

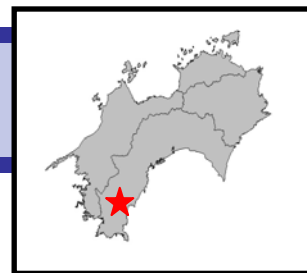
隔年で市のポンプ操法大会を実施するとともに、年1回、全消防団員が職員指導のもと夏季訓練として消防活動の技術向上に取り組んでいます。また、火災予防週間並びに火災多発期においては団員総出で市内巡回広報活動を行い火災のないまちづくりに励んでいます。

また、平成21年4月に発足した女性消防団は、基本活動として救命講習や火災予防広報活動を実施しております。特に、毎年守谷駅前でおこなわれている商工まつり「消防コーナー」においては、市民に大好評で年々来場者が増えており、住宅用火災警報器の設置啓発活動、消火器の取扱い説明等、女性特有の柔らかい指導方法は市民の防災意識を高めることに貢献しています。



活動内容

消防団主催の「津波防災シンポジウム」を開催



消防団概要

都道府県名 高知県
消防団名 黒潮町消防団
実員数 278名〔うち女性団員0名〕
消防団事務局 黒潮町役場 情報防災課消防防災係
電話番号 0880-43-2188
HPアドレス <http://www.town.kuroshio.lg.jp/>

1 活動内容

はじめに

黒潮町は、2012年に国から「最大震度が7、最大津波高が日本最大の34.4m」という厳しい被害想定が出されました。

直後は、地域の方々から「どうせ逃げて...」と諦めの声が多く聞かれ、消防団としてこの状況を打破できることはないのだろうかと悩んだ時期もありました。

しかし、先人が引き継いでくれた自然豊かな黒潮町を、次の世代へ引き継いでいく営みを止めるわけにはいきません。

そのために、消防団の「自分の町は自分で守る」という精神のもと、南海トラフ地震としっかりと向き合い、「一人の犠牲者も出さない」防災文化のまちづくりを行政と一緒に進めています。

そのさきがけとして、「津波防災の日」の直近の祝日である11月3日に「津波防災シンポジウム」を消防団が主催となって開催し、消防団の立場から日本全国へ発信する機会を作りました。

開会式典

来賓の古屋特命担当大臣（防災）、山本衆議院議員からご祝辞を頂いたほか、内閣総理大臣からの電報披露、そして消防団は消防操法を披露するなど、厳粛な雰囲気で行われました。

「津波防災の日」記念講演

その後、内閣総理大臣の防災に関する相談役といえる内閣官房参与の藤井聡氏の講演が行われました。

津波防災シンポジウム

その後、古屋特命担当大臣（防災）、福井衆議院議員、山本衆議院議員、高知県知事、黒潮町長、黒潮町防災アドバイザー佐藤氏（気仙沼市）らをパネリストとしてお迎えし、津波防災シンポジウムを行いました。そこでは、津波防災に関する大変貴重なご意見を数多くいただきました。

そして最後に、副団長が「くろしお宣言」の提案をし、満場の拍手を受けて承認を得ました。

活動内容

活 動 内 容

おわりに

消防団として、このようなシンポジウムを主催した事例が全国的になく、準備から手探りの状態でした。

しかし、県内外から多くの方々に多くの反響をいただき、手応えを感じています。



古屋特命担当大臣（防災）の祝辞



津波防災シンポジウム



パネルディスカッション



副団長の「くろしお宣言」

特 記 事 項

2 特記事項

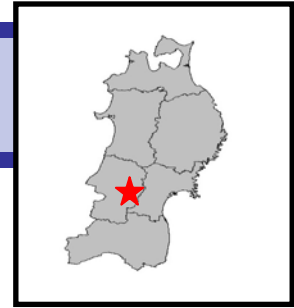
現在、黒潮町では、消防団の管轄区域に行政職員をそれぞれ防災担当として振り分ける「地域担当制」や、津波浸水が想定される全世帯を対象に個別の避難情報を聞き取る「津波避難カルテ」等の対策を行っており、行政と消防団が一緒になって地域に働きかけています。

最悪想定 of 黒潮町があきらめなければ、全国全ての市町村があきらめないでしょう。

最悪想定 of 黒潮町の消防団が率先して防災活動に取り組み、町内はもちろん日本中の人に安心が広がるはずで。

私たち黒潮町消防団は、最悪想定に対して絶対にあきらめず、南海トラフ地震による「犠牲者ゼロ」を目指します。

消防団フェア



消防団概要

都道府県名 山形県
消防団名 山形市消防団
実員数 1739名〔うち女性団員20名〕
消防団事務局 山形市消防本部 総務課消防団係
電話番号 023-634-1199

活動内容

1 活動内容

消防団120年・自治体消防65周年を記念し、地域の方々や消防職団員のご家族など、日頃から激励とご支援をいただくすべての方々に感謝を込めたイベントを実施。

消防活動の士気高揚、連携強化及び消防団の活性化を図り、更には、市民の防火防災意識の向上と消防活動に対する理解を深めることを目的とする。

なお、自治体消防55周年を記念した第1回目の開催から、今回で3回目となる。

(1) 市団各方面隊、女性消防団員による無料提供

餅つき・蕎麦・いも煮・焼そば・玉こんにゃく・焼き鳥・から揚げ等々、20種類1万食を超える振る舞いと各種企画展。

(2) 各種イベント

消防車両の展示・なりきり消防士記念撮影、活動服支度競争、指令号令大声コンテスト、音楽隊ミニコンサート

(3) 防火・防災体験

庁舎併設の市民防災センター装置を使用した体感訓練

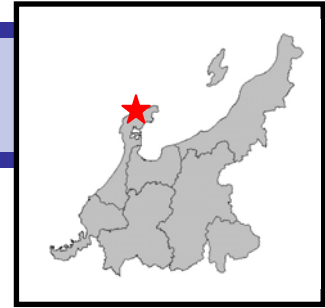


特記事項

2 特記事項

延べ5,000人を上回る来場者のもと、フェアイベント内容が高評価を受け、市民住民の方々の消防全般に対する理解度が増し、更には「安全・安心・安寧」を目指す意識を改めて共有できた。

地域に密着した消防団活動へ



消防団概要

都道府県名 石川県
消防団名 輪島市消防団
実員数 423名〔うち女性団員15名〕
消防団事務局 輪島消防署 消防団事務担当
電話番号 0768-22-0327

活動内容

1 活動内容

組織再編・機能別

- ・ 団員確保のため機能別団員の発足（平成24年7月1日）
- ・ 元消防職団員として経験が5年以上ある者に対する機能別団員への入団推奨
- ・ 平成18年2月1日市町村合併による再編

広報・PR活動、防火・予防活動

- ・ 広報活動や入団促進の為、市祭パレードに参加
- ・ 火災予防週間中に伝単の配布活動
- ・ 女性団員による消防団のPR活動
- ・ 出初式による消防団員の士気高揚及び一般市民に防火思想の普及活動

災害対応・訓練

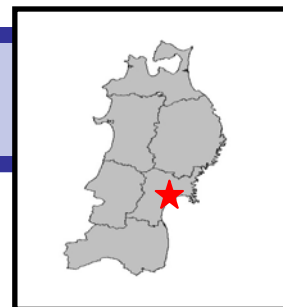
- ・ 地域住民と連携した火災防ぎょ訓練や文化財防ぎょ訓練の実施
- ・ 消防団員を対象とした講習会の実施（機関員講習や、安全管理講習等）
- ・ 消防団員を対象とした消防学校専科教育への参加（初級幹部科、中級幹部科等）

その他

- ・ 女性消防団員を対象とした救命講習の実施
- ・ 女性消防団員の専門知識向上セミナーへの参加



宮城県消防協会広報課長に 「みやぎ 消太」を任命



消 防 団 概 要

都道府県名 宮城県
 実員数 20,810名〔うち女性団員441名〕
 事務局 宮城県消防協会
 電話番号 022-262-4333
 HPアドレス <http://www.miyagi-syoubou.or.jp/>

1 活動内容

宮城県消防協会において防火防災の普及啓発用として、着ぐるみを作成し、平成25年11月10日第64回宮城県消防大会において辞令交付を行い、当協会坂本会長から広報課長に任命しました。



辞 令
 みやぎ 消太

宮城県消防協会
 広報課長に任命する

平成25年11月10日
 会長 坂本長男

活 動 内 容

貸出対象は宮城県内の消防団・消防(局)本部及び会長が適当と認める団体とし、平成25年12月から県内各地に出張しております。



登米市 平成25年度婦人防火クラブ大会



登米市 火災予防街頭広報

市民の方々と共に



消防団概要

都道府県名 千葉県
消防団名 千葉市消防団
実員数 744名〔うち女性団員146名〕
消防団事務局 千葉市消防局 総務部総務課消防団係
電話番号 043-202-1635
HPアドレス
<http://www.city.chiba.jp/shobo/somu/somu/syouboudansyokai.html>

活動内容

1 活動内容

千葉市消防団では、消防局や消防署で開催される、市民見学会やコンサート等各種行事に積極的に参加する他、消防団自らがイベントを開催するなど、市民の方々とふれあう機会を作っております。

消防音楽隊のコンサートにおいては、会場内に消防団コーナーを設置し各種活動をパネルで紹介すると共に、演奏の間には、消防団員が壇上に上がり、音楽隊員とのインタビュー形式で消防団活動の説明や消防団員募集の呼びかけを実施しています。

また、消防団と地域が接する機会が少ないエリアでは、独自で交流イベントを企画し、消防団車両の披露や、子供用消防服による撮影会を実施し、近隣住民の方々との交流を深めています。

千葉市消防団では今後とも、このような機会を大切にし、市民の方々と一体となって安全・安心な街づくりを進めていきたいと思っております。

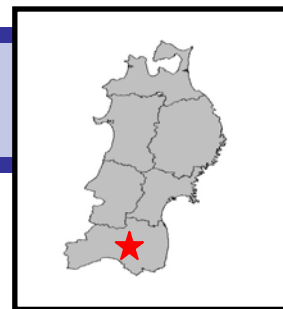


消防音楽隊のコンサートで消防団を紹介



消防団自らが交流イベントを開催

東日本大震災を教訓に



消防団概要

都道府県名 福島県
消防団名 須賀川市消防団
実員数 1,156名〔うち女性団員0名〕
消防団事務局 須賀川市生活環境部生活課消防防災係
電話番号 0248-88-9133
HPアドレス www.city.sukagawa.fukushima.jp/

活動内容

1 活動内容

防火訪問

東日本大震災により、本市には4箇所177棟の応急仮設住宅が設置された。この状況を鑑み、平成23年10月6日に開催された須賀川市消防団本部会議で、住宅の構造が昔の長屋と同じく壁1枚で10世帯以上の棟が4、5列並んでいる現状であり、火災予防の周知が各戸に必要であることが協議された。

この協議を踏まえて、平成23年秋季全国火災予防運動と合わせて応急仮設住宅全戸に消防団本部員「副団長」を中心に地元の消防団正副分団長等で火災予防啓発チラシを配付しながら応急仮設住宅に避難している住民に火災予防啓発と消防団が見守っているという安心感を与えた。

その後、平成24年、25年の春季、秋季全国火災予防運動において継続的に行った結果、各戸へ訪問するたびに、「ありがとう」「ごくろうさまです」との言葉の後に最初は緊張した面持ちが、最近では笑顔で受け答えをする住民が多くなった。



特記事項

2 特記事項

今後の方針

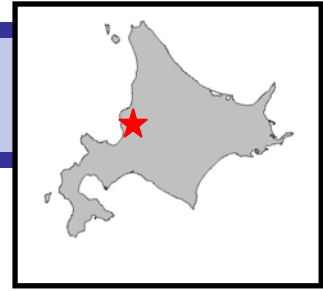
火災予防活動

須賀川市消防団では、各分団で毎月、消防車両で火災予防の広報活動を行っている以外に市内全域の春季、年末年始防火パレードや春季、秋季全国火災予防運動期間中には火災予防啓発チラシを各戸に配付しており今後も継続的に活動していく。

災害時の火災予防活動

東日本大震災を教訓に、被災した住民に対し消防団活動の一環として、消防団員が継続的に火災予防活動等を行うことにより地域や地区を見守っていると言う安心感を与え、心の支えとなっている実情を考慮し、災害時はよりきめ細やかな消防団活動を実施していく。

月形町防災フェスタ



消防団概要

都道府県名 北海道
消防団名 月形消防団
実員数 78名〔うち女性団員11名〕
消防団事務局 岩見沢地区消防事務組合 月形支署
電話番号 0126-53-2154
HPアドレス <http://www.town.tsukigata.hokkaido.jp/>

活動内容

1 活動内容

防災の日、災害に備えるため関係機関や団体相互の連携強化を目的として月形町主催「月形防災フェスタ」が開催されました。

住民が参加・体験しながら防災に対する意識向上が図れるよう各団体と協力し、多くのコーナーを設け啓発活動を実施しました。

また、消防団員による訓練として、腕用ポンプを使用し、放水活動を実演。放水に使用する水は、給水隊(女性団員)により消火バケツでポンプへ給水を行いました。

体験コーナー

- ・消防車両乗車体験(消防団) ・放水体験(消防団)
- ・炊き出し試食体験(日赤奉仕団、自衛隊)
- ・災害対応型自動販売機体験(コカ・コーラー)

学習コーナー

- ・気象に関する展示(气象台) ・消火体験(消防団)
- ・応急手当、AED取扱(消防団)

防災パフォーマンス

- ・腕用ポンプ操法(消防団) ・着ぐるみ(消太)啓発

上記以外にも楽しみながら学べるコーナーが多数ありました。



特記事項

2 特記事項

体験・学習コーナーをメインとした消防関係コーナーに多数の来場者があり、防災への更なる啓発活動を行うことができたと思います。今後も地域防災力・減災意識の向上を目指し、各関係機関と力を合わせ消防活動に努めていきます。

あつぎ市消防団ふれあい広場



消防団概要

都道府県名 神奈川県
消防団名 厚木市消防団
実員数 563名〔うち女性団員10名〕
消防団事務局 厚木市消防本部 消防総務課消防総務係
電話番号 046-223-9366
HPアドレス <http://www.city.atsugi.kanagawa.jp>

1 活動内容

あつぎ消防団ふれあい広場は、地域防災の中核をなす消防団の重要性と必要性を、消防車両等の乗車体験や消火器の取扱体験などを通して、市民の皆様をはじめ多くの方々に理解していただくとともに、火災予防や防災に対する意識の高揚を図り、火災のない明るいまちづくりに努めることを目的に平成22年度から実施しています。今回も昨年同様「あつぎ国際大道芸」と同時開催とし、市役所駐車場を会場に11月10日(日)に開催しました。当日は、約4,600人の方々に来場していただき、盛大のうちに終了することができました。

会場では、当市消防団及び消防署の活動を紹介したパネルの展示、消防団員加入促進活動、消防車両の展示、防火ポスターの展示、防火パンフレットの配布、住宅用火災警報器の啓発、消防設備安全協会による防災用品・備蓄品の展示を実施しました。また、毎回好評をいただいている6つの体験コーナー(消火器取扱、放水体験、煙体験、応急手当指導、はしご車乗車、起震車体験)を対象にしたスタンプラリーには、737人の市民の方々に参加いただきました。

今回も、本事業の目的であります「消防団活動の理解と防災意識の向上」という所期の目的を大いに達成できたものと考察します。

活動内容



その他の活動事例

分類	都道府県	団体・消防団名	活動内容
消防団員確保	宮崎県	宮崎県消防協会	平成24年度から毎月県内放送のテレビとラジオによる消防団員募集広報を定期的実施している。
消防団員確保	茨城県	阿見町消防団	大学の協力を得て、入学式や新入生ガイダンスにおいて、消防団のPRや団員募集のチラシ配布を行い、今年度は2名の学生が入団しました。学生団員の得意分野を生かした活動で、より一層充実した活動となっています。
消防団員確保	山梨県	甲斐市消防団	平成24年度から採用された市職員が、職員研修として2年間消防団に入団することとなった。また、さらなる女性団員の確保と女性団員の活動をPRするため、市のわくわくフェスタにて団員募集の広報活動を実施し、全国火災予防運動では、市内商業施設6箇所にて、火災予防啓発活動及び団員募集の広報活動を実施した。
訓練・災害対応	千葉県	木更津市消防団	毎年春の火災予防運動に合わせ、木更津市消防団地震災害対応マニュアルに基づき、消防団員の参集及び広報訓練・指揮伝達の緻密化等をテーマに中継訓練を実施している。
訓練・災害対応	福島県	桑折町消防団	桑折町消防団では、特別養護老人ホームの消防訓練、文化財防火デーに伴う防火訓練及び施設巡視により、施設と消防団が日頃から連携を取って訓練を行っている。
訓練・災害対応	埼玉県	朝霞市消防団	朝霞市総合防災訓練や、消防出初式において救出救助訓練を実施し、災害対応能力の向上を図っています。また、女性団員が屋内消火栓操法大会にオープン参加しました。
訓練・災害対応	岐阜県	加茂郡消防協会	加茂郡消防協会は、7町村の消防団で構成されており、毎年1回輪番制で各町村が訓練計画し各消防団の連携及び装備資器材等の用途・使用方法等の確認を目的に実施しています。訓練計画については、担当する町村の消防団が目的を考慮した内容と共に、過去の実災害から学んだ事をキーワードとして災害想定を考えています。
組織再編・機能別	青森県	五所川原市消防団	平成23年4月1日にスーパー消防団員(仮名)として、各分団からの有志で発足し、現在14名で活動をしています。なお、平成25年4月1日からは機動部隊に改名している。
組織再編・機能別	東京都	蒲田消防団	円滑、効率的な応急手当普及活動の推進を目的として消防団本部内で自立した組織の「応急手当普及連絡会」を設立した。
組織再編・機能別	北海道	東藻琴消防団	年々増加傾向にある冬山救助事案に備え、平成21年にスノーモービル隊を結成しました。また、近隣の小清水消防、美幌自衛隊と合同訓練も実施し、連携強化を図っています。
組織再編・機能別	埼玉県	新座市消防団	平成25年4月に女性分団が設置され、主に火災予防広報啓発活動を行い、各種イベント時に消火訓練指導や防火に対する指導を実施。また、保育園を対象に火災予防啓発劇で幼児期における防火思想の普及啓発を始めました。

分 類	都道府県	団体・消防団名	活動内容
女性消防団員	北海道	上川消防団	集会場を訪問し、「火災から避難する際の大切なこと」をテーマに高齢者に人形劇を上演し、火災時の対処法などの質問に答えるなどして交流を深めました。 この防火訪問は北海道新聞にも掲載。
女性消防団員	北海道	長沼消防団	長沼女性消防団員は、全員が応急手当普及員養成講習を修了し、応急手当の普及啓発を行っています。高齢者世帯への防火訪問や、手作り紙芝居で幼稚園・保育園児に火の用心を呼び掛けるなど火災予防広報も行っています。
女性消防団員	北海道	滝川消防団	子供の火遊びによる事故防止を目的に、市内の保育園、幼稚園の園児に対して、女性消防団員がミツバチの着ぐるみを着用し、日本とは異なったアメリカの体験型の火災予防教育や自作の紙芝居で予防広報を実施しております。
広報・P R	青森県	新郷村消防団	出初式、防火パレード（春秋）、防火毎戸訪問（11.12月）でP R実施。 消防団協力事業所に4社認定。
広報・P R	千葉県	木更津市消防団	消防団行事のお知らせ及び結果等に併せ、火災予防の啓発と団員募集を掲載した木更津市消防団広報誌（纏）を毎年3～4回発行している。
広報・P R	北海道	訓子府消防団	秋の火災予防運動の消防団車両パレードにあわせて、訓子府幼稚園幼年消防クラブ員の園児の参加協力を得て、消防団幹部とともに町内市街地の防火パレードを実施しました。

その他の活動事例の紹介



茨城県 阿見町消防団



山梨県 甲斐市消防団



福島県 桑折町消防団



埼玉県 朝霞市消防団



岐阜県 加茂郡消防協会



東京都 蒲田消防団



北海道 東藻琴消防団



北海道 上川消防団



北海道 長沼消防団



北海道 滝川消防団



北海道 訓子府消防団

千葉県 木更津市消防団



三重県 熊野市消防団



青森県 弘前市消防団



青森県 十和田市消防団



第 章

新時代に対応した消防団 運営方策の普及に係る講座



平成25年度 新時代に対応した消防団

運営方策の普及に係る講座 実施状況

日本消防協会では、消防団員の確保や消防団組織の充実強化、活性化を一層促進していくことを目的に、団員確保対策、組織運営、住民へ啓発指導、災害対応に関する具体的な方策について講座を開催しています。

また、最前線で活動する各地の消防団員や防災関係者と講師が意見を交換する場を設けることにより、現場の声を集約し、今後の消防団運営の一層の活性化に役立てたいと考えています。今年度は、計24回実施いたしました。

各講座実施状況

【1】東京都赤羽消防団 副団長 小澤 浩子 氏

平成25年 5月26日(日) 北海道釧路市 参加人員 70名

演題「共に守る明日のために～新時代における女性消防団員の活動と課題～」

平成25年 7月 5日(金) 大分県大分市 参加人員 65名

演題「女性のパワーがこの町を守る！

～新時代における女性消防団員の活動と課題～」

平成25年 9月 7日(土) 愛知県蟹江町 参加人員 410名

演題「共に守る仲間たち ～新時代の消防団活動～」

平成25年12月12日(木) 茨城県水戸市 参加人員 300名

演題「まちを守る力 ～今、私たちにできること～」

平成26年 2月 2日(日) 山口県周南市 参加人員 80名

演題「ふるさとの明日を守る！ ～女性消防団員の活動と課題～」

平成26年 2月23日(日) 広島県広島市 参加人員 170名

演題「まちを守る力 ～女性消防団員の活動と課題～」



【2】公益財団法人長野県消防協会 参与 五十嵐 幸男 氏

平成25年 6月21日(金) 静岡県焼津市 参加人員 90名

演題「消防団運営について」

平成25年10月26日(土) 石川県金沢市 参加人員 30名

演題「消防団運営について」



【3】リスクウォッチ代表 長谷川 祐子 氏

平成25年 8月31日(土) 長野県大町市 参加人員 250名

演題「アメリカからの防火・防災の知恵～今まで知らなかった知恵を学ぼう～」

平成25年 9月 1日(日) 埼玉県熊谷市 参加人員 170名

演題「アメリカからの知恵を学ぼう」

平成25年11月19日(火) 宮城県仙台市 参加人員 100名

演題「アメリカからの知恵を学ぼう～幼児への防火・防災教育～」



【4】埼玉県日高市消防団 相談役 猪俣 利雄 氏

平成25年 9月 8日(日)東京都千代田区 参加人員 270名

演題「埼玉県 日高市消防団の活性化実例」



【5】一般財団法人消防科学総合センター 図上訓練指導員 中村 敏一 氏

平成25年 9月21日(土)岐阜県高山市 参加人員 77名

演題「消防団活動の重要性と今後の課題等」



【6】滋賀県野洲市消防団 元副団長 山本 きぬ江 氏

平成25年 9月28日(土)愛媛県西予市 参加人員 150名

演題「これからの活動に求められるもの」

平成25年11月17日(日)岡山県美作市 参加人員 200名

演題「これからの活動に求められるもの」



【7】岩手県山田町消防団 副分団長 大石 秀男 氏

平成25年 9月28日(土) 三重県名張市、伊賀市 参加人員 280名

演題「東日本大震災における消防団活動」



【8】岩手県大槌町消防団第二分団第一部長 鈴木 亨 氏

平成25年10月18日(金) 岐阜県郡上市 参加人員 50名

演題「東日本大震災 大津波と私の行動」



【9】三重県松阪市消防団 前団長 田所 照朗 氏

平成25年11月 5日(火) 福岡県北九州市 参加人員 370名

演題「消防団員の訓練、活動、緊急時対応への工夫、対策」

平成26年 1月23日(木) 青森県青森市 参加人員 90名

演題「消防団員の訓練、活動、緊急時対応への工夫、対策」

平成26年 2月23日(日) 大阪府大阪市 参加人員 176名

演題「消防団員の訓練、活動、緊急時対応への工夫、対策」



【10】三重県名張市消防団 本団女性部 福永 かほる 氏
藤山 敦子 氏

平成25年12月 5日(木) 福島県福島市 参加人員 83名

演題「魅力ある防火啓発劇の取組み等について～出動！アンシンダーL～」



【11】青森県青森市青森消防団 青桜分団 分団長 佐藤 裕貴子 氏
副分団長 田中 茂子 氏

平成26年 1月30日(木) 秋田県秋田市 参加人員 116名

演題「青桜分団の現在の活動と今後の取組みについて」



【12】宮城県東松島市消防団 前団長 阿部 賢一 氏

平成26年 2月 6日(木) 鳥取県倉吉市 参加人員 120名

演題「その時、東松島市では！～東日本大震災の消防団の活動について～」



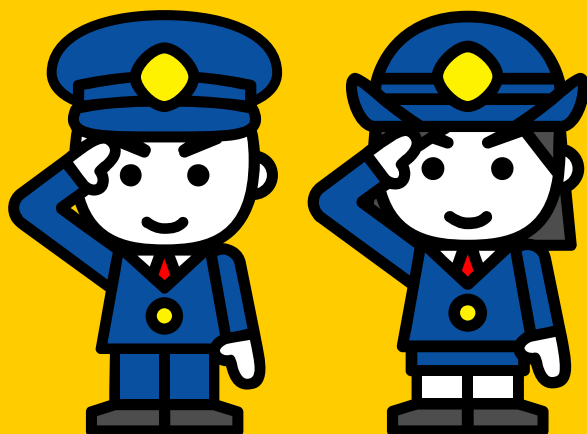
【13】東北福祉大学兼任講師 後藤 一蔵 氏

平成26年 2月14日(金)高知県高知市 参加人員 145名

演題「いま、消防団に問われていること」



日本消防協会からのお知らせ



消防団活動事例ページのご案内

閲覧場所へのアクセス方法①

日本消防協会ホームページに
アクセスしてください。
<http://www.nissho.or.jp>

右側メニュー内
【消防団活動事例】を
クリックしてください。



閲覧場所へのアクセス方法②

ご覧になりたい年度の画像を
クリックしてください。
※【PDF】データが開きます



各消防団の記事がご覧いただけます。

全国消防団PRページへの登録方法

無料で、各消防団の情報を掲載し、消防団の活動内容等をPRすることができます。

(登録は消防団単位とします)

登録手順①

日本消防協会ホームページに
アクセスします
<http://www.nissho.or.jp>

画面右下の【全国消防団PR】を
クリックします。



登録手順②

右図のページが表示されましたら
画面中央の【PRページ申請画面】
をクリックします。



登録手順③

右図の項目欄に入力してください。
※尚、添付する画像のサイズは
80KB までとします。

入力が終了しましたら、画面下部の
【次へ】をクリックします



登録が完了されました。

後日、【全国消防団PR】ページ内に情報が公開されます。